

キャプタン（案）

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、本報告では、今般提出された作物残留試験成績に基づき、前回審議からの変更点を取りまとめる。また、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に内閣総理大臣から食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

1. 概要

- （1）品目名：キャプタン[Captan（ISO）]
- （2）分 類（用途）：農薬（殺菌剤）
- （3）化学名、CAS番号、構造式及び物性：変更なし（添付資料1参照）

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の国内における適用の範囲及び使用方法は、別紙1のとおり。なお、今般の基準値設定依頼に係る新たな適用の範囲及び使用方法は網掛けとしている。

3. 代謝試験

（1）植物代謝試験

変更なし（添付資料1参照）

（2）家畜代謝試験

家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、親化合物の残留は認められず、産卵鶏での代謝試験で10%TRR^{注1)} 以上認められた代謝物は、代謝物B（産卵鶏の筋肉、肝臓、腎臓、腹腔内脂肪、卵黄及び卵白）並びに代謝物C^{注2)} 及び代謝物D^{注3)} の混合物（産卵鶏の筋肉、肝臓、腎臓及び卵黄）であった。

注1) %TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

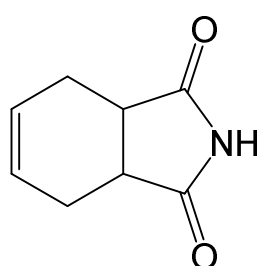
注2) 代謝物Cc及び代謝物Ctをいう。

注3) 代謝物Dc及び代謝物Dtをいう。

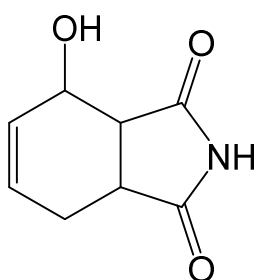
【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
B	THPI	3a, 4, 7, 7a-テトラヒドロ-1 <i>H</i> -イソインドール-1, 3(2 <i>H</i>)-ジオン
C	3-OH THPI	4-ヒドロキシ-3a, 4, 7, 7a-テトラヒドロ-1 <i>H</i> -イソインドール-1, 3(2 <i>H</i>)-ジオン
Cc	-	(3a <i>S</i> , 4 <i>R</i> , 7a <i>S</i>)-4-ヒドロキシ-3a, 4, 7, 7a-テトラヒドロ-1 <i>H</i> -イソインドール-1, 3(2 <i>H</i>)-ジオン
Ct	-	(3a <i>S</i> , 4 <i>S</i> , 7a <i>S</i>)-4-ヒドロキシ-3a, 4, 7, 7a-テトラヒドロ-1 <i>H</i> -イソインドール-1, 3(2 <i>H</i>)-ジオン
D	5-OH THPI	5-ヒドロキシ-3a, 4, 5, 7a-テトラヒドロ-1 <i>H</i> -イソインドール-1, 3(2 <i>H</i>)-ジオン
Dc	-	(3a <i>S</i> , 5 <i>R</i> , 7a <i>R</i>)-5-ヒドロキシ-3a, 4, 5, 7a-テトラヒドロ-1 <i>H</i> -イソインドール-1, 3(2 <i>H</i>)-ジオン
Dt	-	(3a <i>S</i> , 5 <i>S</i> , 7a <i>R</i>)-5-ヒドロキシ-3a, 4, 5, 7a-テトラヒドロ-1 <i>H</i> -イソインドール-1, 3(2 <i>H</i>)-ジオン

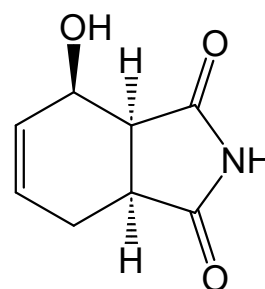
－：JMPR で評価されていない。



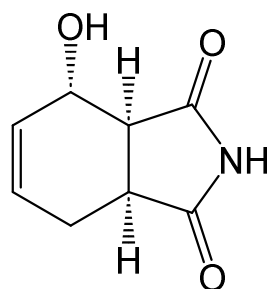
代謝物B



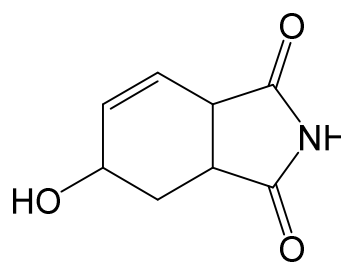
代謝物C



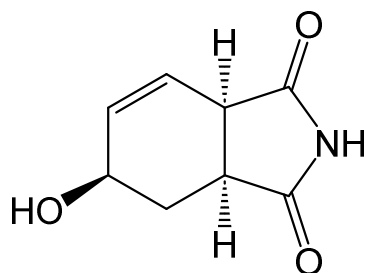
代謝物Cc



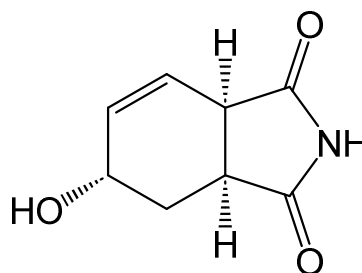
代謝物Ct



代謝物D



代謝物Dc



代謝物Dt

注) 残留試験の分析対象、残留の規制対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

今回追加のあった、小麦、大麦及びミニトマトに係る分析法については以下のとおり。

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

・キャプタン

② 分析法の概要

i) キャプタン

試料に 3%リン酸溶液を加えて磨砕均一化した後、アセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。アセトニトリル/ヘキサン分配し、シリカゲルカラムを用いて精製した後、電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ (GC-ECD) で定量する。

あるいは、試料に 10%リン酸溶液を加えて磨砕均一化した後、アセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。シリカゲルカラムを用いて精製し、GC-ECD で定量する。

定量限界 : 0.01 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内作物残留試験については、小麦、大麦、ミニトマト及びいちごの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2に示す。

5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じて家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留農薬濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

- ・代謝物B
- ・代謝物Cc
- ・代謝物Ct
- ・代謝物Dc
- ・代謝物Dt

② 分析法の概要

i) 代謝物B、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dt

筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓の場合は、試料にアセトンを加え磨砕均一化した後、遠心分離し、上澄液から酢酸エチルで抽出する。乳汁の場合は、試料に塩化ナトリウムを加え、酢酸エチルで抽出する。抽出液から溶媒を留去し、アセトニトリル/ヘキサン分配した後、シリカゲルカラムを用いて精製する。10%トリメチルクロロシランを含むN,O-ビス（トリメチルシリル）トリフルオロアセトアミドを用いてトリメチルシリル化し、ガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

なお、代謝物B、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dtの分析値は、代謝物Bについては、換算係数1.99を用いてキャプタン濃度に換算した値[※]として示し、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dtについては、それぞれ換算係数1.81を用いてキャプタン濃度に換算した値[※]として示した。

定量限界：代謝物B	0.020 mg/kg（キャプタン換算濃度 [※] ）
代謝物Cc	0.018 mg/kg（キャプタン換算濃度 [※] ）
代謝物Ct	0.018 mg/kg（キャプタン換算濃度 [※] ）
代謝物Dc	0.018 mg/kg（キャプタン換算濃度 [※] ）
代謝物Dt	0.018 mg/kg（キャプタン換算濃度 [※] ）

※換算した数値は小数点第4位で四捨五入した。以下、換算した値の取扱いについては同様とする。

（2）家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛を用いた残留試験

乳牛（ホルスタイン種、体重487.2～737.1 kg、4頭/群、馴化開始時；約2.6～6.5歳齢）に対して、飼料中濃度として10、30及び100 ppmに相当する量のキャプタンを含むカプセルを29日間にわたり経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳に含まれるキャプタンの代謝物である代謝物B、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dtの濃度をそれぞれGC-MSで測定した。乳については、投与前日、投与1日目（投与初日）、4、7、10、14、21及び28日目に採取し、乳試料中の残留濃度は、投与1日後にプラトーに達した。結果は表1のとおりであった。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg)

		10 ppm 投与群	30 ppm 投与群	100 ppm 投与群
筋肉	キャプタン	— (最大) — (平均)	— (最大) — (平均)	— (最大) — (平均)
	代謝物B	0.040 (最大) 0.033 (平均)	0.260 (最大) 0.146 (平均)	0.720 (最大) 0.478 (平均)
	代謝物Cc	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)
	代謝物Ct	0.036 (最大) 0.030 (平均)	0.145 (最大) 0.103 (平均)	0.380 (最大) 0.332 (平均)
	代謝物Dc	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)
	代謝物Dt	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	0.018 (最大) 0.018 (平均)	0.109 (最大) 0.072 (平均)
	合計 (キャプタン+代謝物B + 代謝物Cc+代謝物Ct+代謝物Dc+代謝物Dt)	0.130 (最大) 0.117 (平均)	0.458 (最大) 0.303 (平均)	1.205 (最大) 0.918 (平均)
脂肪	キャプタン	— (最大) — (平均)	— (最大) — (平均)	— (最大) — (平均)
	代謝物B	<0.020 (最大) <0.020 (平均)	0.100 (最大) 0.053 (平均)	0.239 (最大) 0.153 (平均)
	代謝物Cc	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)
	代謝物Ct	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	0.072 (最大) 0.042 (平均)
	代謝物Dc	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)
	代謝物Dt	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)
	合計 (キャプタン+代謝物B + 代謝物Cc+代謝物Ct+代謝物Dc+代謝物Dt)	<0.092 (最大) <0.092 (平均)	0.172 (最大) 0.125 (平均)	0.365 (最大) 0.249 (平均)
肝臓	キャプタン	— (最大) — (平均)	— (最大) — (平均)	— (最大) — (平均)
	代謝物 B	0.060 (最大) 0.046 (平均)	0.398 (最大) 0.239 (平均)	0.975 (最大) 0.610 (平均)
	代謝物 Cc	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)
	代謝物 Ct	0.018 (最大) 0.018 (平均)	0.127 (最大) 0.078 (平均)	0.235 (最大) 0.205 (平均)
	代謝物 Dc	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)
	代謝物 Dt	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)
	合計 (キャプタン+代謝物B + 代謝物Cc+代謝物Ct+代謝物Dc+代謝物Dt)	0.132 (最大) 0.119 (平均)	0.579 (最大) 0.371 (平均)	1.265 (最大) 0.870 (平均)

表 1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg) (つづき)

		10 ppm 投与群	30 ppm 投与群	100 ppm 投与群
腎臓	キャプタン	— (最大) — (平均)	— (最大) — (平均)	— (最大) — (平均)
	代謝物 B	0.040 (最大) 0.033 (平均)	0.299 (最大) 0.179 (平均)	0.756 (最大) 0.504 (平均)
	代謝物 Cc	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)
	代謝物 Ct	0.036 (最大) 0.036 (平均)	0.235 (最大) 0.169 (平均)	0.615 (最大) 0.495 (平均)
	代謝物 Dc	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	<0.018 (最大) <0.018 (平均)
	代謝物 Dt	<0.018 (最大) <0.018 (平均)	0.036 (最大) 0.036 (平均)	0.181 (最大) 0.127 (平均)
	合計 (キャプタン+代謝物B+代謝物Cc+代謝物Ct+代謝物Dc+代謝物Dt)	0.130 (最大) 0.123 (平均)	0.606 (最大) 0.420 (平均)	1.552 (最大) 1.162 (平均)
乳 注)	キャプタン	—	—	—
	代謝物B	0.013 (平均)	0.051 (平均)	0.392 (平均)
	代謝物Cc	<0.018 (平均)	<0.018 (平均)	<0.018 (平均)
	代謝物Ct	0.036 (平均)	0.116 (平均)	0.423 (平均)
	代謝物Dc	<0.018 (平均)	<0.018 (平均)	<0.018 (平均)
	代謝物Dt	0.009 (平均)	0.014 (平均)	0.065 (平均)
	合計 (キャプタン+代謝物B+代謝物Cc+代謝物Ct+代謝物Dc+代謝物Dt)	0.094 (平均)	0.217 (平均)	0.916 (平均)

定量限界：(キャプタン換算濃度)

代謝物B 筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳0.020 mg/kg

代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dt 筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳0.018 mg/kg

—：分析せず(親化合物は分析されていないことから、残留濃度は0として計算した。)

注) 投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均残留濃度がプラトーに達する投与開始後1日目以降の残留濃度の平均値を求めた。

代謝物Bの濃度は、換算係数1.99を用いてキャプタン濃度に換算した値として示し、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dtの濃度は、それぞれ換算係数1.81を用いてキャプタン濃度に換算した値として示した。定量限界未満の場合は、乳については0.005 mg/kgの検出があったものとみなし、他の組織についてはそれぞれ定量下限値を検出したものとして計算した上で、換算を行った。

② 産卵鶏を用いた代謝試験

産卵鶏を用いた残留試験は実施されていないが、放射性同位体標識キャプタンを用いた代謝試験が実施されている。

産卵鶏 (Ross Hisex Brown、体重1.7～2.2 kg、雌10羽) に対して、シクロヘキセン環

を¹⁴Cで標識した¹⁴C-キャプタンを含むゼラチンカプセルを飼料中濃度として10 ppmに相当する量を10日間にわたり強制経口投与し、最終投与16時間後に採取した筋肉、脂肪、腎臓及び肝臓並びに毎日採取した卵に含まれる総放射性残留物（TRR）の濃度を液体シンチレーション計数装置（LSC）で測定した。また、各試料中のキャプタン、代謝物B、代謝物Ct及び代謝物Dtを含む各放射性残留物の濃度を薄層クロマトグラフ（TLC）及び高速液体クロマトグラフ（HPLC）を用いて分析した。また、畜産物残留分析法に基づきGC-MSにより代謝物を定量した。結果は表2のとおりであった。

なお、キャプタン、代謝物Cc及び代謝物Dcは、全ての組織及び卵で残留は認められなかった。

表2. 10 ppm 投与のシクロヘキセン-¹⁴C 標識キャプタンの残留濃度（mg eq/kg）*

	筋肉	脂肪	肝臓	全卵
キャプタン	—	—	—	—
代謝物B	0.260	0.140	0.402	0.400
代謝物Cc	<0.018	<0.018	<0.018	<0.018
代謝物Ct	0.051	<0.018	0.045	0.052
代謝物Dc	<0.018	<0.018	<0.018	<0.018
代謝物Dt	0.043	<0.018	<0.018	<0.018
合計（キャプタン＋代謝物B＋代謝物Cc＋代謝物Ct＋代謝物Dc＋代謝物Dt）	0.390	0.212	0.501	0.506

定量限界：代謝物B 0.020 mg/kg、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dt 0.018 mg/kg（キャプタン換算濃度）

—：分析せず（親化合物は分析されていないことから、残留濃度は0として計算した。）

* mg eq/kg：畜産物残留分析法に基づき定量された代謝物Bの濃度に換算係数1.99を乗じ、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dtの濃度にそれぞれ換算係数1.81を乗じたキャプタン換算濃度

（3）飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）に定める飼料一般の成分規格や飼料となる作物の残留試験成績等を基に、飼料の最大給与割合等を考慮して最大飼料由来負荷^{注1)}が算出されている。最大飼料由来負荷は、乳牛において11.3518 ppm、肉牛において14.9443 ppm、豚において4.6258 ppm、産卵鶏において2.123 ppm、肉用鶏において1.523 ppmと示されている。なお、平均的飼料由来負荷^{注2)}は計算されていない。

注1)最大飼料由来負荷（Maximum dietary burden）：飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表

示される。

注2) 平均的飼料由来負荷 (Mean dietary burden) : 飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に (作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

(4) 推定残留濃度の算出

牛及び豚について、最大飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。最大残留濃度は、キャプタン及び代謝物Bをキャプタンに換算した濃度の合計を示し、平均的な残留濃度は、キャプタン、代謝物B、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dtをキャプタンに換算した濃度の合計濃度で示した。結果は表3及び4のとおりであった。

表3. 畜産物中の推定残留濃度：牛 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.094 (0.163)	0.040 (0.100)	0.143 (0.181)	0.104 (0.196)	0.016 (0.102)

上段：最大残留濃度* 下段括弧内：平均的な残留濃度**

*：最大残留濃度は、キャプタン及び代謝物Bの合計

**：平均的な残留濃度は、キャプタン、代謝物B、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dtの合計

表4. 畜産物中の推定残留濃度：豚 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓
豚	0.018 (0.054)	0.009 (0.043)	0.028 (0.055)	0.018 (0.057)

上段：最大残留濃度* 下段括弧内：平均的な残留濃度**

*：最大残留濃度は、キャプタン及び代謝物Bの合計

**：平均的な残留濃度は、キャプタン、代謝物B、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dtの合計

鶏について、産卵鶏の最大飼料由来負荷と家畜代謝試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。最大残留濃度は、代謝物Bをキャプタンに換算した濃度の推定濃度を示し、平均的な残留濃度は、代謝物B、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dtをキャプタンに換算した濃度の合計濃度で示した。結果は表5のとおりであった。

表5. 畜産物中の推定残留濃度：鶏（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
鶏	0.055 (0.083)	0.030 (0.045)	0.085 (0.106)	0.085 (0.107)

上段：最大残留濃度* 下段括弧内：平均的な残留濃度**

*：最大残留濃度は、キャプタン及び代謝物Bの合計

**：平均的な残留濃度は、キャプタン、代謝物B、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dtの合計

6. 許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の評価

先の審議の際に、食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたキャプタンに係る食品健康影響評価において、キャプタンのADIを0.1 mg/kg体重/日、一般の集団に対するARfDを3 mg/kg体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.3 mg/kg体重と設定すると評価されている。

7. 諸外国における状況

変更なし（添付資料1参照）

8. 残留規制

（1）残留の規制対象

農産物及びはちみつにあっては、キャプタンとし、畜産物にあっては、キャプタン及び代謝物Bとする。

植物代謝試験において、主な残留物は親化合物であり、作物残留試験においても親化合物の残留が認められ、分析の指標として親化合物のみで十分であると考えられることから、農産物及びはちみつにおける残留の規制対象は、キャプタンのみとする。

泌乳山羊における家畜代謝試験において、親化合物の残留は認められず、各組織で認められた主な残留物は代謝物Bであった。また、産卵鶏における家畜代謝試験において、全ての組織及び卵で親化合物は残留せず、代謝物Bの残留が各組織で認められた。

さらに、乳牛における家畜残留試験では、親化合物の測定は行われなかったが、代謝物Bの残留が各組織で認められたことから、畜産物の残留の規制対象はキャプタン及び代謝物Bとする。

（2）基準値案

別紙3のとおりである。

9. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

農産物にあつては、キャプタンとし、畜産物にあつては、キャプタン、代謝物B、代謝物C及び代謝物Dとする。

植物代謝試験において、主な残留物は親化合物であり、10%TRR 以上認められた代謝物はなかった^{注1)}ことから、農産物における暴露評価対象には代謝物を含めず、キャプタンのみとする。

家畜代謝試験において、親化合物の残留は認められなかった。10%TRR以上認められた代謝物は代謝物B、代謝物C及び代謝物Dの混合物^{注2)}であった。また、家畜残留試験において親化合物の測定は行われていないが、代謝物B、代謝物Ct及び代謝物Dtの残留が各組織、乳及び卵で認められたことから、畜産物の暴露評価対象はこれらの代謝物を含め、キャプタン、代謝物B、代謝物C及び代謝物Dとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をキャプタン（親化合物のみ）としている。

注1) りんごの表面洗浄後の果皮及び果肉それぞれの抽出液において総放射性残留物の10%を超える代謝物が検出されたものの、果実全体に換算した場合に10%TRR を超える代謝物はなかった。

注2) 混合物は、代謝物Cc、代謝物Ct、代謝物Dc及び代謝物Dtを指す。

(2) 暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙4参照。

	EDI／ADI (%) ^{注)}
国民全体（1 歳以上）	10.9
幼小児（1～6 歳）	30.4
妊婦	11.3
高齢者（65 歳以上）	12.3

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

② 短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量(ESTI)を算出したところ、国民全体（1歳以上）、幼小児（1～6歳）及び妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）のそれぞれにおける摂取量はARfDを超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙5-1、5-2及び5-3参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

キャプタンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2026年7月22日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	キャブタンを含む農薬の総使用回数
小麦	80.0% WP	散布	1000～1500倍	収穫7日前まで	60～150 L/10 a	4回以内	4回以内
			600～1000倍				
	50.0% WP 配合剤1	散布	500倍	収穫14日前まで	60～150 L/10 a	2回以内	
			125倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	8倍		1.6 L/10 a		
			4倍		0.8 L/10 a		
	40.0% WP 配合剤2	散布	500～750倍	収穫14日前まで	60～150 L/10 a	3回以内	
麦類（小麦を除く）	80.0% WP	散布	600～1000倍	収穫7日前まで	60～150 L/10 a	4回以内	4回以内
未成熟とうもろこし	80.0% WP	種子処理機による種子粉衣	種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	1回	1回
いんげんまめ	80.0% WP	散布	600～1200倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内）
はくさい	80.0% WP	散布	800倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	6回以内（種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内）
			600～1200倍				
			600倍				
	20.0% WP 配合剤3	散布	500倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
ごぼう	80.0% WP	散布	800倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	6回以内（種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内）
レタス	20.0% WP 配合剤3	散布	500倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	6回以内（種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内）
たまねぎ	80.0% WP	散布	600倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	6回以内（種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内）
	45.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	
	40.0% WP 配合剤2	散布	500～750倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
			500倍				
葉たまねぎ	80.0% WP	散布	600倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	6回以内（種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内）
せり科葉菜類（せりを除く）	80.0% WP	灌注	800倍	は種後から2～3葉期まで	2 L/㎡	2回以内	3回以内（種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内）
トマト	80.0% WP	散布	800～1200倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内（種子粉衣は1回以内）
			800倍				
		種子粉衣	種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	1回	
		灌注	800倍	は種後から2～3葉期まで	2 L/㎡	5回以内	
	60.0% WP 配合剤5	散布	600倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	20.0% WP 配合剤3	散布	500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	
400～800倍							

キャプタンの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年7月22日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	キャブタンを含む農薬の総使用回数
ミニトマト	80.0% WP	散布	800～1200倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内(種子粉衣は1回以内)
			800倍				
		種子粉衣	種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	1回	
		灌注	800倍	は種後から2～3葉期まで	2 L/㎡	5回以内	
ピーマン	80.0% WP	種子粉衣	種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	1回	2回以内(種子粉衣は1回以内)
		灌注	800倍	は種後から2～3葉期まで	2 L/㎡	2回以内	
なす	80.0% WP	種子粉衣	種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	1回	5回以内(種子粉衣は1回以内)
		灌注	800倍	は種後から2～3葉期まで	2 L/㎡	5回以内	
	60.0% WP 配合剤5	散布	500～600倍	収穫開始3日前まで	100～300 L/10 a	1回	
とうがらし類	80.0% WP	灌注	800倍	は種後から2～3葉期まで	2 L/㎡	2回以内	3回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)
きゅうり	80.0% WP	散布	800倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内(種子粉衣は1回以内)
			600～800倍				
			600倍				
		種子粉衣	種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	1回	
		灌注	800倍	は種後から2～3葉期まで	2 L/㎡	5回以内	
	60.0% WP 配合剤5	散布	600～800倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
			500～600倍				
	45.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	
	40.0% WP 配合剤6	散布	400～800倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	20.0% WP 配合剤3	散布	400～600倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	
400～800倍							
かぼちゃ	80.0% WP	散布	600倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内(種子粉衣は1回以内)
			400～800倍				
		種子粉衣	種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	1回	
しろうり	80.0% WP	散布	600倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内(種子粉衣は1回以内)
			400～800倍				
		種子粉衣	種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	1回	
		灌注	800倍	は種後から2～3葉期まで	2 L/㎡	5回以内	

キャプタンの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年7月22日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	キャブタンを含む農薬の総使用回数
すいか	80.0% WP	散布	600倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内(種子粉衣は1回以内)
			400～800倍				
		種子粉衣	種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	1回	
		灌注	800倍	は種後から2～3葉期まで	2 L/㎡	5回以内	
	20.0% WP 配合剤3	散布	500～600倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
			500倍				
メロン	80.0% WP	散布	600倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内(種子粉衣は1回以内)
			400～800倍				
		種子粉衣	種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	1回	
		灌注	800倍	は種後から2～3葉期まで	2 L/㎡	5回以内	
	20.0% WP 配合剤3	散布	500～600倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
			500倍				
ほうれんそう(露地栽培)	50.0% WP 配合剤7	散布	500倍	収穫14日前まで	200～300 L/10 a	1回	1回
オクラ	80.0% WP	灌注	800倍	は種後から2～3葉期まで	2 L/㎡	2回以内	3回以内(種子粉衣は1回以内、は種後は2回以内)
しょうが	80.0% WP	散布	600倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	5回以内(塊茎粉衣は1回以内、灌注は2回以内、散布は2回以内)
		塊茎粉衣	塊茎重量の2%	植付前	—	1回	
		灌注	400倍	収穫30日前まで	3 L/㎡	2回以内	
野菜類(いも類を除く)	80.0% WP	種子処理機による種子粉衣	種子重量の0.2～0.4%	は種前	—	1回	1回
りんご	80.0% WP	散布	800～1200倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	6回以内	6回以内
			800倍				
			600～1000倍				
			600～800倍				
	70.0% WP 配合剤8	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	
	50.0% WG 配合剤9	散布	800～1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	50.0% WP 配合剤10	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	
	45.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	6回以内(ただし、開花期以降散布は3回以内)	
			800～1000倍				
40.0% WP 配合剤6	散布	800倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内		
	20.0% WP 配合剤3	散布	700～800倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	4回以内	

キャプタンの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年7月22日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	キャプタンを含む農薬の総使用回数
なし	80.0% WP	散布	1000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	9回以内	9回以内
			800倍				
			600～1000倍				
	70.0% WP 配合剤8	散布	1000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
	60.0% WP 配合剤5	散布	600～800倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	4回以内	
			500～600倍				
	50.0% WG 配合剤9	散布	1000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	45.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	4回以内	
	40.0% WP 配合剤6	散布	400～800倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
20.0% WP 配合剤3	散布	500～600倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	9回以内		
		500倍					
マルメロ	80.0% WP	散布	1000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	6回以内	6回以内
もも	80.0% WP	散布	600倍	発芽前	200～700 L/10 a	4回以内	4回以内
	50.0% WP 配合剤10	散布	1000倍	発芽前	200～700 L/10 a	3回以内	
	45.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	休眠期	200～700 L/10 a	1回	
	20.0% WP 配合剤3	散布	500倍	発芽前	200～700 L/10 a	4回以内	
おうとう	80.0% WP	散布	800倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	5回以内	5回以内
	60.0% WP 配合剤5	散布	600～800倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	50.0% WG 配合剤9	散布	1000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	45.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
	40.0% WP 配合剤6	散布	800倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	20.0% WP 配合剤3	散布	600倍	収穫終了後～落葉期 まで	200～700 L/10 a	3回以内	
いちご	80.0% WP	散布	800倍	収穫開始14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
ブルーベリー	80.0% WP	散布	500～1000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	5回以内(生育期は2回以内、収穫終了後～落葉期までは3回以内)
			500倍				
	20.0% WP 配合剤3	散布	600倍	収穫終了後～落葉期 まで	200～700 L/10 a	3回以内	
ベリー類(ブルーベリーを除く)	20.0% WP 配合剤3	散布	600倍	収穫終了後～落葉期 まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内

キャプタンの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年7月22日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	キャプタンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	80.0% WP	散布	800倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	70.0% WP 配合剤8	散布	800倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
	50.0% WG 配合剤9	散布	1000倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	45.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫60日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	40.0% WP 配合剤6	散布	800倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
			400～600倍				
			400～800倍				
かき	80.0% WP	散布	1000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	5回以内	5回以内
	70.0% WP 配合剤8	散布	1000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
	45.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
パパイヤ	80.0% WP	散布	600倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
パイナップル	80.0% WP	散布	500倍	収穫21日前まで	300～400 L/10 a	3回以内	3回以内
マンゴー	80.0% WP	散布	600倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
小粒核果類	80.0% WP	散布	800～1000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			800倍				
くるみ	80.0% WP	散布	800倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	4回以内	4回以内

WP：水和剤

WG：顆粒水和剤

配合剤1：10.0%テブコナゾール

配合剤2：4.5%メトコナゾール

配合剤3：30.0%有機銅

配合剤4：20.0%イミノクタジナルベシル酸塩

配合剤5：10.0%ペノミル

配合剤6：40.0%ホセチル

配合剤7：2.4%テトラコナゾール

配合剤8：7.5%ペンチオピラド

配合剤9：7.0%フルオキサストロビン

配合剤10：7.0%ピコキシストロビン

今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

－：規定されていない項目

キャプタンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の 根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦 (玄麦)	2	80.0% WP	600倍散布 150 L/10 a	<u>4</u>	14, 21, 28	圃場A : 0.24 (4回, 14日) 圃場B : 0.95 (4回, 14日)	◎
	3		600倍散布 120~139 L/10 a	<u>4</u>	1, 3, <u>7</u> , 14	圃場A : 0.28 圃場B : 0.90 圃場C : 3.36	
	3		600倍散布 120~142 L/10 a	<u>4</u>	1, 3, <u>7</u> , 14	圃場A : 0.38 圃場B : 0.66 圃場C : 0.36	
	1		600倍散布 143 L/10 a	<u>4</u>	1, 3, <u>7</u> , 14	圃場A : 16.6	
	2		600倍散布 150, 120 L/10 a	<u>4</u>	1, 3, <u>7</u> , 14	圃場A : 12.1 圃場B : 8.90	
大麦 (脱穀した種子)	1	80.0% WP	600倍散布 143 L/10 a	<u>4</u>	1, 3, <u>7</u> , 14	圃場A : 16.6	◎
	2		600倍散布 150, 120 L/10 a	<u>4</u>	1, 3, <u>7</u> , 14	圃場A : 12.1 圃場B : 8.90	
未成熟とうもろこし (子実)	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣	<u>1</u>	69	圃場A : <0.01	◎
					74	圃場B : <0.01	
いんげんまめ (乾燥子実)	1	80.0% WP	600倍散布 70 L/10 a	1	48	圃場A : <0.04 (#)	◎
	1	80.0% WP	600倍散布 100 L/10 a	1, 3	7, 51	圃場A : <0.005 (1回, 51日)	
	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +600倍散布 150 L/10 a	<u>1+2</u>	28, 42, 56	圃場A : <0.375 (\$) (3回, 28日)	
			0.3%種子粉衣 +600倍散布 300 L/10 a			圃場B : <0.375 (\$) (3回, 28日)	
はくさい (可食部)	2	80.0% WP	600倍散布 150, 200 L/10 a	2, <u>5</u>	1, 3	圃場A : 0.65 (5回, 3日) (#) 圃場B : 0.75 (5回, 3日) (#)	◎
ごぼう (根部)	2	80.0% WP	800倍散布 200 L/10 a	<u>5</u>	14, 21, 28	圃場A : <0.005 圃場B : <0.005	◎
レタス (茎葉)	2	80.0% WP	800倍散布 200 L/10 a	<u>5</u>	3, 7, 14	圃場A : 0.198 (5回, 14日) (#) 圃場B : 0.630 (5回, 14日) (#)	◎
たまねぎ (鱗茎)	2	80.0% WP	600倍散布 160, 200 L/10 a	3, <u>6</u>	10, 20	圃場A : <0.01 (6回, 10日) (#) 圃場B : <0.01 (4回, 10日)	◎
				4			
	2	80.0% WP	600倍散布 200 L/10 a	<u>5</u>	<u>1</u> , 3, 7, 14	圃場A : 0.01 (5回, 3日) 圃場B : 0.076 (5回, 3日)	
ねぎ (可食部)	2	20.0% WP	400倍散布 150~200 L/10 a	<u>5</u> , 10	1, 3, 7	圃場A : 0.275 (5回, 7日) (#) 圃場B : 0.055 (5回, 7日) (#)	◎
葉たまねぎ (可食部)	2	80.0% WP	600倍散布 150 L/10 a	<u>5</u>	3, <u>7</u> , 14, 21	圃場A : 1.18 圃場B : 1.70	◎
セルリー (茎部)	2	80.0% WP	600倍散布 150 L/10 a	3	21, 30, 45	圃場A : 0.456 (3回, 21日) (#)	
					21, 30, 44	圃場B : 2.30 (3回, 21日) (#)	
にんじん (葉)	2	80.0% WP	800倍土壌灌注 2 L/m ²	<u>2</u>	30, 45, 59	圃場A : 0.02 (2回, 30日)	
					30, 45, 58	圃場B : 0.02 (2回, 30日)	

キャプタンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の 根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
コリアンダー (茎葉)	2	80.0% WP	800倍土壌灌注 2 L/m ²	2	30, 45, 55	圃場A : 2.64 (2回, 30日) 圃場B : 8.01 (2回, 30日)	◎
トマト (果実)	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +800倍株元灌注 2 L/m ² +1200倍散布 200~250 L/10 a	1+1+5	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.42 (7回, 1日) (#) 圃場B : 2.37 (7回, 3日) (#)	
	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +800倍株元灌注 2 L/m ² +800倍散布 200~250 L/10 a	1+1+5	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.56 (7回, 7日) (#) 圃場B : 1.30 (7回, 1日) (#)	
	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +800倍灌注 2 L/m ² +800倍散布 300 L/10 a	1+1+5	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.94 (7回, 7日) (#) 圃場B : 0.51 (7回, 1日) (#)	
ミニトマト (果実)	3	80.0% WP	800倍散布 222~278 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A : 3.38 圃場B : 2.22 (5回, 3日) 圃場C : 6.03	◎
ピーマン (果実)	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +800倍灌注 2 L/m ²	1+1	77 60	圃場A : <0.005 圃場B : <0.005	◎
なす (果実)	2	80.0% WP	800倍散布 250 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A : 1.205 (#) 圃場B : 0.438 (#)	◎
	2	80.0% WP	600倍散布 250 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A : 1.485 (#) 圃場B : 0.697 (#)	
	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +800倍散布 2 L/m ²	1+1	70	圃場A : <0.005 (#) 圃場B : <0.005 (#)	
ししとう (果実)	2	80.0% WP	800倍散布 2 L/m ²	2	46	圃場A : <0.01 (#) 圃場B : <0.01 (#)	◎
甘長とうがらし (果実)	2	80.0% WP	800倍散布 2 L/m ²	2	86, 93, 100	圃場A : <0.01 (2回, 86日) (#) 圃場B : <0.01 (2回, 86日) (#)	
きゅうり (果実)	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +800倍株元灌注 2 L/m ² +600倍散布 100~250 L/10 a	1+1+5	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.946 (7回, 1日) (#) 圃場B : 0.602 (7回, 1日) (#)	
	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +800倍株元灌注 2 L/m ² +800倍散布 100~250 L/10 a	1+1+5	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.967 (7回, 1日) (#) 圃場B : 0.471 (7回, 1日) (#)	
かぼちゃ (果実)	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +800倍散布 2 L/m ² +400倍散布 150~180 L/10 a	1+1+5	14, 21, 30	圃場A : 1.282 (7回, 21日) (#) 圃場B : 0.07 (7回, 30日) (#)	◎

キャプタンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の 根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
しろうり (果実)	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +800倍灌注 2 L/m ² +400倍散布 125~200 L/10 a	$\frac{1}{1}+1+3,$ $\frac{1}{1}+1+5$	7, 14, 21	圃場A : 0.015 (5回, 14日)	
			0.4%種子粉衣 +800倍灌注 1 L/m ² +400倍散布 100 L/10 a			圃場B : <0.005 (5回, 14日) (#)	
すいか (可食部)	2	80.0% WP	400倍散布 300 L/10 a	6	1, 3, 7	圃場A : <0.008 (\$) (6回, 7日) (#)	
						圃場B : <0.008 (\$) (6回, 7日) (#)	
	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +800倍灌注 2 L/m ²	$\frac{1}{1}+1$	70	圃場A : <0.005	
					80	圃場B : <0.005	
すいか (果肉)	3	80.0% WP	400倍散布 202~279 L/10 a	$\frac{5}{5}$	14, 21, 28	圃場A : <0.01	
						圃場B : 0.02 (5回, 21日)	
						圃場C : <0.01	
すいか (果実)	3	80.0% WP	400倍散布 202~279 L/10 a	$\frac{5}{5}$	14, 21, 28	圃場A : 0.12	◎
						圃場B : 0.97	
						圃場C : 0.08	
メロン (果肉)	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣 +800倍灌注 2 L/m ² +400倍散布 200 L/10 a	$\frac{1}{1}+1+3,$ $\frac{1}{1}+1+5$	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.005 (5回, 14日)	
						圃場B : <0.005 (5回, 14日)	
	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣	$\frac{1}{1}$	99	圃場A : <0.01	
					101	圃場B : <0.01	
	2	80.0% WP	800倍散布 2 L/m ²	$\frac{2}{2}$	60, 63, 67	圃場A : <0.01	
						圃場B : <0.01	
	3	80.0% WP	400倍散布 262~280 L/10 a	$\frac{5}{5}$	7, 14, 21	圃場A : 0.02	△
						圃場B : 0.08 (5回, 21日)	
						圃場C : <0.01	
メロン (果実)	3	80.0% WP	400倍散布 262~280 L/10 a	$\frac{5}{5}$	7, 14, 21	圃場A : 2.78	○
						圃場B : 7.19 (5回, 21日)	
						圃場C : 1.08	
ほうれんそう (茎葉)	2	50.0% WP	500倍散布 180~182.86 L/10 a	$\frac{1}{1}$	14, 21, 28	圃場A : 4.66	◎
						圃場B : 1.70	
オクラ (果実)	2	80.0% WP	800倍灌注 2 L/m ²	$\frac{2}{2}$	60, 63, 67	圃場A : <0.01 (2回, 60日)	◎
						圃場B : <0.01 (2回, 60日)	
しょうが (根茎)	2	80.0% WP	塊茎重量の2%粉衣	$\frac{1}{1}$	167	圃場A : 0.02	
					194	圃場B : 0.02	
	3	80.0% WP	塊茎重量の2%粉衣 +400倍灌注 3 L/m ² +600倍散布 150~200 L/10 a	$\frac{1}{1}+2+2$	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.06 (5回, 14日)	◎
						圃場B : 0.08 (5回, 7日)	
	1	80.0% WP	400倍灌注 3 L/m ² +600倍散布 150~200 L/10 a	$\frac{2}{2}+2$	3, 7, 14	圃場C : 0.06	
					3, 7, 14, 21	圃場A : 0.12 (4回, 7日)	
種しょうが (根茎)	1	80.0% WP	塊茎重量の2%粉衣 +400倍灌注 3 L/m ² +600倍散布 150~200 L/10 a	$\frac{1}{1}+2+2$	3, 7, 14	圃場A : 10.0	
	1	80.0% WP	400倍灌注 3 L/m ² +600倍散布 150~200 L/10 a	$\frac{2}{2}+2$	3, 7, 14, 21	圃場B : 0.03 (4回, 7日)	
えだまめ (さや)	2	80.0% WP	0.4%種子粉衣	$\frac{1}{1}$	67	圃場A : <0.01	
					68	圃場B : <0.01	

キャプタンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
りんご (果実)	1	80.0% WP	800倍散布 50 L/樹	4, 9	56, 77	圃場A : 0.06 (4回, 77日) (#)	
	1	80.0% WP	600倍散布 500~700 L/10 a	13	1, 3, 5, 10	圃場A : 0.039 (13回, 5日) (#)	
	2	80.0% WP	600倍散布 600 L/10 a	8	3, 7, 14, 21	圃場A : 1.82 (8回, 21日) (#) 圃場B : 4.24 (8回, 7日) (#)	
	2	80.0% WP	800倍散布 600 L/10 a	6	3, 7, 14, 21	圃場A : 3.545 (6回, 14日)	◎注2)
					3, 7, 15, 22	圃場B : 2.65 (6回, 15日)	
			600倍散布 600 L/10 a	6	3, 7, 14, 21 3, 7, 15, 22	圃場A : 6.91 (6回, 7日) 圃場B : 6.505 (6回, 7日)	
	2	80.0% WP	800倍散布 500, 600 L/10 a	6	3, 7, 14, 21	圃場A : 2.98 (6回, 14日) 圃場B : 0.51 (6回, 14日)	◎注2)
	2	80.0% WP	600倍散布 600 L/10 a	6	3, 7, 14, 21	圃場A : 1.69 (6回, 7日) 圃場B : 3.50 (6回, 3日)	
	2	80.0% WP	600倍散布 500, 600 L/10 a	6	1, 3, 7, 14	圃場A : 8.155 圃場B : 2.325	◎
なし (果実)	2	80.0% WP	600倍散布 400, 500 L/10 a	5, 7, 9	3, 7, 14	圃場A : 1.34 圃場B : 6.79 (5回, 3日)	◎
	2	80.0% WP	600倍散布 400 L/10 a	9	3, 7, 14	圃場A : 2.82 (9回, 7日) 圃場B : 1.97	
	2	80.0% WP	600倍散布 300, 350 L/10 a	9	3, 7, 14, 21	圃場A : 3.285 圃場B : 1.985	
もも (果肉)	2	80.0% WP	600倍散布 300, 600 L/10 a	8	2, 5, 10 1, 5, 10	圃場A : 0.675 (8回, 5日) (#) 圃場B : 0.467 (8回, 1日) (#)	
	2	80.0% WP	600倍散布 400, 600 L/10 a	6	1, 3, 7	圃場A : 0.550 (6回, 7日) (#)	
					1, 3, 7	圃場B : 0.351 (6回, 1日) (#)	
あんず (果実)	2	80.0% WP	800倍散布 10 L/樹 800倍散布 350 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : 0.466 (#) 圃場B : 1.78	◎
うめ (果実)	2	80.0% WP	600倍散布 500 L/10 a	3	14, 21	圃場A : 0.805 (#) 圃場B : 1.83 (#)	
	2	80.0% WP	800倍散布 200, 600 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : 0.91 圃場B : 1.81	◎
	2	80.0% WP	600倍散布 500 L/10 a	5	14	圃場A : 2.96 (#) 圃場B : 2.61 (#)	
おうとう (果実)	2	80.0% WP	800倍散布 500~700 L/10 a	2, 3, 4	7, 14, 20	圃場A : 0.375 (4回, 7日) 圃場B : 3.585 (4回, 7日)	
	2	80.0% WP	800倍散布 700 L/10 a	4, 5	14, 21	圃場A : 2.005 (5回, 14日) 圃場B : 1.136 (5回, 14日)	
	2	80.0% WP	1000倍散布 700 L/10 a	5		圃場A : 1.84 (5回, 14日) (#) 圃場B : 0.964 (5回, 14日) (#)	
	2	80.0% WP	800倍散布 500 L/10 a	5	3, 7, 14, 21 3, 7, 14	圃場A : 3.86 圃場B : 2.66	
いちご (果実)	2	80.0% WP	800倍散布 150 L/10 a 600倍散布 150 L/10 a	2, 3	21, 30, 45	圃場A : 0.857 (3回, 21日) (#) 圃場B : 0.492 (3回, 21日) (#)	
	3	80.0% WP	800倍散布 179~181 L/10 a	5	14, 21, 30	圃場A : 2.07 (5回, 21日)	
						圃場B : 1.14 圃場C : 0.74	

キャプタンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	設定の 根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ブルーベリー (果実)	2	80.0% WP	500倍散布 600 L/10 a	<u>2</u>	<u>21</u> , 30, 45	圃場A : 4.2 圃場B : 6.8	
ぶどう (果実)	1	80.0% WP	800倍散布 250 L/10 a	<u>3</u> , <u>5</u>	<u>15</u> , 23	圃場A : 0.429 (3回, 23日)	
	1	80.0% WP	800倍散布 300 L/10 a	<u>3</u> , <u>5</u>	<u>13</u> , 27	圃場A : 0.65 (3回, 27日)	
	2	80.0% WP	800倍散布 300 L/10 a	1, <u>5</u> , 7	<u>3</u> , 7, <u>14</u> , <u>21</u>	圃場A : 1.24 (1回, 21日) (#) 圃場B : 0.589 (1回, 21日) (#)	
	3	80.0% WP	800倍散布 250, 300 L/10 a	2, <u>3</u> , <u>5</u>	<u>3</u> , 7, <u>14</u> , <u>21</u>	圃場A : 3.73 (3回, 21日) (#) 圃場B : 3.53 (3回, 21日) (#) 圃場C : 1.70 (3回, 21日) (#)	
	4	80.0% WP	800倍散布 300 L/10 a	2, <u>3</u> , <u>5</u>	<u>14</u> , <u>21</u> , <u>30</u>	圃場A : 1.86 圃場B : 0.786 圃場C : 6.34 圃場D : 7.09	
	2	80.0% WP	800倍散布 300, 500 L/10 a	2	<u>30</u> , 45, 60, 75	圃場A : 3.37 圃場B : 0.46	
	3	80.0% WP	800倍散布 305~343, 317, 330 L/10 a	<u>3</u>	<u>1</u> , <u>14</u> , <u>21</u> , <u>30</u>	圃場A : 3.16 圃場B : 3.72 圃場C : 3.70	
	4	80.0% WP	600倍散布 500 L/10 a	<u>5</u>	39, 54, 89 42, 56, 89 <u>7</u> , 14, 21, 30	圃場A : 0.189 (5回, 54日) (#) 圃場B : 0.275 (5回, 56日) (#) 圃場C : 1.66 (#) 圃場D : 1.53 (#)	◎
	2	80.0% WP	600倍散布 300 L/10 a	1, 2, <u>3</u>	7, <u>14</u> , 21	圃場A : 1.07 圃場B : 2.26 (3回, 21日)	◎
	2	80.0% WP	500倍散布 400 L/10 a	1, 2, <u>3</u>	<u>10</u> , <u>21</u>	圃場A : 0.123 圃場B : 0.062 (2回, 21日)	◎
マンゴー (果実)	2	80.0% WP	600倍散布 600 L/10 a	1, 2, <u>3</u>	<u>7</u> , 14, 21	圃場A : 1.89 圃場B : 0.659	◎
くるみ (果仁)	2	80.0% WP	800倍散布 600 L/10 a	<u>4</u>	<u>7</u> , 14, 21	圃場A : 0.14 圃場B : <0.04	◎

WP : 水和剤
- : 分析せず

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定の根拠に○、暴露評価に使用されているものに△、基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。
(\$)同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に使い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

注2) マルメロの適用範囲及び使用方法(1000倍散布、6回、収穫14日前まで)に合致する残留濃度を示している。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
小麦	6	2	○・申			0.28～3.36(n=6)
大麦	40		申			8.90,12.1,16.6
ライ麦	40		申			(大麦参照)
とうもろこし	0.01	0.01	○			<0.01,<0.01(未成熟とうもろこし)※1
その他の穀類	40		申			(大麦参照)
大豆	0.01	0.01	○			※2
小豆類	1	1	○			<0.375,<0.375(¥)いんげんまめ)
えんどう	0.01	0.01	○			※2
そら豆	0.01	0.01	○			※2
らっかせい	0.01	0.01	○			※2
その他の豆類	0.01	0.01	○			※2
ばれいしょ	0.05	0.05		0.05		
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.01	0.01	○			※2
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	0.01	0.01	○			※2
かぶ類の根	0.01	0.01	○			※2
かぶ類の葉	0.01	0.01	○			※2
西洋わさび	0.05	0.05	○	0.05		
クレソン	0.01	0.01	○			※2
はくさい	2	2	○			0.65,0.75(¥)(¥)
キャベツ	0.01	0.01	○			※2
芽キャベツ	0.01	0.01	○			※2
ケール	0.01	0.01	○			※2
こまつな	0.01	0.01	○			※2
きょうな	0.01	0.01	○			※2
チンゲンサイ	0.01	0.01	○			※2
カリフラワー	0.01	0.01	○			※2
ブロッコリー	0.01	0.01	○			※2
その他のあぶらな科野菜	0.01	0.01	○			※2
ごぼう	0.02	0.02	○			<0.005,<0.005(¥)
サルシフィー	0.01	0.01	○			※2
アーティチョーク	0.01	0.01	○			※2
チコリ	0.01	0.01	○			※2
エンダイブ	0.01	0.01	○			※2
しゅんぎく	0.01	0.01	○			※2
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	2	1	○			0.198, 0.630(¥)(¥)
その他のきく科野菜	0.05	0.05	○	0.05		
たまねぎ	0.3	0.3	○			0.01, 0.076(¥)
ねぎ(リーキを含む。)	0.7	2	●			0.055,0.275(¥)(¥)
にんにく	0.01	0.01	○			※2
にら	0.01	0.01	○			※2
アスパラガス	0.01	0.01	○			※2
わけぎ	0.01	0.01	○			※2
その他のゆり科野菜	5	5	○			1.18,1.70(¥)(葉たまねぎ)
にんじん	0.01	0.01	○			※2
パースニップ	0.01	0.01	○			※2
パセリ	15	15	○			(その他のせり科野菜参照)
セロリ	15	15	○			(その他のせり科野菜参照)
みつば	15	15	○			(その他のせり科野菜参照)
その他のせり科野菜	15	15	○	0.05		2.64,8.01(¥)(コリアンダー)
トマト	15	5	○・申	5		2.22,3.38,6.03(ミニトマト)
ピーマン	0.02	0.02	○			<0.005,<0.005(¥)
なす	3	5	○			0.697,1.485(¥)(¥)
その他のなす科野菜	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)(ししとう)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
きゅうり(ガーキンを含む。)	3	3	○	3		
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	3	5	○			0.07,1.282(＃)(¥)
しろうり	10	10	○	10		
すいか(果皮を含む。)	3	3	○			0.08,0.12,0.97
メロン類果実(果皮を含む。)	20	20	○	10		1.08,2.78,7.19
まくわうり(果皮を含む。)	10	10	○	10		
その他のうり科野菜	0.01	0.01	○			※2
ほうれんそう	10	15	○			1.70,4.66(¥)
たけのこ		0.01				
オクラ	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
しょうが	0.3	0.3	○	0.05		0.06~0.12(n=4)
未成熟えんどう	0.01	0.01	○			※2
未成熟いんげん	0.01	0.01	○			※2
えだまめ	0.01	0.01	○			※2
その他の野菜	0.05	0.05	○	0.05		
りんご	15	15	○			2.325,8.155(¥)
日本なし	15	15	○			1.34~6.79(n=6)
西洋なし	15	15	○			(日本なし参照)
マルメロ	8	9	○			0.51~3.545(n=4)(りんご)
もも(果皮及び種子を含む。)	20	20	○	20		
ネクタリン	3	3		3		
あんず(アブリコットを含む。)	5	5	○			0.466,1.78(¥)
すもも(プルーンを含む。)	10	10	○	10		
うめ	5	5	○			0.91,1.81(¥)
おうとう(チェリーを含む。)	25	25	○	25		
いちご	15	15	○	15		
ラズベリー	20	20	○	20		
ブラックベリー	0.01	0.01	○			※3
ブルーベリー	20	20	○	20		
クランベリー	0.01	0.01	○			※3
ハuckleベリー	20	20	○	20		
その他のベリー類果実	0.01	0.01	○			※3
ぶどう	25	25	○	25		
かき	2	5	○			0.918,0.996(＃)(¥)※4
パパイヤ	5	5	○			1.07,2.26(¥)
パイナップル	0.5	0.7	○			0.062,0.123(¥)
マンゴー	5	5	○			0.659,1.89(¥)
その他の果実	10	10		10		
アーモンド	0.3	0.3		0.3		
くるみ	0.5	0.5	○			<0.04,0.14(¥)
その他のスパイス(根又は根茎に限る。)注)	0.05	0.05	○	0.05		
その他のハーブ	15	15	○	0.05		(その他のせり科野菜参照)
牛の筋肉	0.1		申			推:0.094
豚の筋肉	0.02		申			推:0.018
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.1		申			(牛の筋肉参照)
牛の脂肪	0.04		申			推:0.040
豚の脂肪	0.01		申			推:0.009
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.04		申			(牛の脂肪参照)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
牛の肝臓	0.2		申			推:0.143
豚の肝臓	0.03		申			推:0.028
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.2		申			(牛の肝臓参照)
牛の腎臓	0.2		申			推:0.104
豚の腎臓	0.02		申			推:0.018
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2		申			(牛の腎臓参照)
牛の食用部分	0.2		申			(牛の肝臓参照)
豚の食用部分	0.03		申			(豚の肝臓参照)
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2		申			(牛の肝臓参照)
乳	0.02		申			推:0.016
鶏の筋肉	0.06		申			推:0.055
その他の家きんの筋肉	0.06		申			(鶏の筋肉参照)
鶏の脂肪	0.04		申			推:0.030
その他の家きんの脂肪	0.04		申			(鶏の脂肪参照)
鶏の肝臓	0.09		申			推:0.085
その他の家きんの肝臓	0.09		申			(鶏の肝臓参照)
鶏の腎臓	0.09		申			(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの腎臓	0.09		申			(鶏の肝臓参照)
鶏の食用部分	0.09		申			(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの食用部分	0.09		申			(鶏の肝臓参照)
鶏の卵	0.09		申			推:0.085
その他の家きんの卵	0.09		申			(鶏の卵参照)
はちみつ	0.05					※5
干しぶどう	50	50		50		

太枠: 本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

○: 既に、国内において登録等がされているもの

●: 現在登録が削除されているものの、農林水産省から適用追加の登録申請が行われており、申請された使用方法では残留が現行基準の範囲内に収まり、安全性上の新たな懸念もないことから、残留基準の維持が要請されたもの

申: 農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#): 適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥): 基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

推: 推定される残留濃度

注) 「その他のスパイス(根又は根茎に限る。)」とは、アサフェチダ、ウコン、ガジュツ、ガランガル又はカンゾウの根又は根茎をいう。

※1) 未成熟とうもろこしとして登録されている。種子処理の適用であり、「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添5「残留性が極めて低い農薬の基準値設定の考え方について」に基づき設定。残留濃度は極めて低いと推定されることから0.01ppmを設定する。

※2) 野菜類として登録されている。種子処理の適用であり、「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添5「残留性が極めて低い農薬の基準値設定の考え方について」に基づき設定。残留濃度は極めて低いと推定されることから0.01ppmを設定する。

※3) バリー類として登録されている。使用時期が収穫終了から落葉期までであり、「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添5「残留性が極めて低い農薬の基準値設定の考え方について」に基づき設定。残留濃度は極めて低いと推定されることから0.01ppmを設定する。

※4) かきについては、プロポーショナルリティ(proportionality)の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、かきは80.0%WP1000倍散布を基に換算した。

※5) 「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

キャプタンの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用 いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
小麦	6	0.52	31.1	23.0	35.9	25.9
大麦	40	12.1	64.1	53.2	106.5	53.2
ライ麦	40	12.1	1.2	1.2	6.1	1.2
とうもろこし	0.01	0.01	0.0	0.1	0.1	0.0
その他の穀類	40	12.1	2.4	1.2	1.2	3.6
大豆	0.01	● 0.01	0.4	0.2	0.3	0.5
小豆類	1	0.375	0.9	0.3	0.3	1.5
えんどう	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.05	0.05	1.9	1.7	2.1	1.8
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の根	0.01	● 0.01	0.3	0.1	0.2	0.5
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の葉	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
かぶ類の根	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.1
かぶ類の葉	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
西洋わさび	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	2	0.7	12.4	3.6	11.6	15.1
キャベツ	0.01	● 0.01	0.2	0.1	0.2	0.2
芽キャベツ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
こまつな	0.01	● 0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
きょうな	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
チンゲンサイ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	0.01	● 0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
その他のあぶらな科野菜	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ごぼう	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
サルシフィー	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
エンダイブ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
しゅんぎく	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	2	0.414	4.0	1.8	4.7	3.8
その他のきく科野菜	0.05	0.05	0.1	0.0	0.0	0.1
たまねぎ	0.3	0.043	1.3	1.0	1.5	1.2
ねぎ (リーキを含む。)	0.7	0.165	1.6	0.6	1.1	1.8
にんにく	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
にら	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
わけぎ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	5	1.44	0.9	0.1	0.3	1.7
にんじん	0.01	● 0.01	0.2	0.1	0.2	0.2
パースニップ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	15	5.325	0.5	0.5	0.5	1.1
セロリ	15	5.325	6.4	3.2	1.6	6.4
みつば	15	5.325	2.1	0.5	0.5	2.7
その他のせり科野菜	15	5.325	1.1	0.5	1.6	1.6
トマト	15	3.38	108.5	64.2	108.2	123.7
ピーマン	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
なす	3	1.091	13.1	2.3	10.9	18.7
その他のなす科野菜	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	3	0.22	4.6	2.1	3.1	5.6
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	3	0.676	6.3	2.5	5.3	8.8
しろうり	10	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか (果皮を含む。)	3	0.12	0.9	0.7	1.7	1.4
メロン類果実 (果皮を含む。)	20	0.020	0.1	0.1	0.1	0.1
まくわうり (果皮を含む。)	10	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0

キャプタンの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用 いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
ほうれんそう	10	3.18	40.7	18.8	45.2	55.3
オクラ	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
しょうが	0.3	0.07	0.1	0.0	0.1	0.1
未成熟えんどう	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟いんげん	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
えだまめ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	0.05	0.05	0.7	0.3	0.5	0.7
りんご	15	5.24	126.8	161.9	98.5	169.8
日本なし	15	2.403	15.4	8.2	21.9	18.7
西洋なし	15	2.403	1.4	0.5	0.2	1.2
マルメロ	8	2.815	0.3	0.3	0.3	0.3
もも (果皮及び種子を含む。)	20	4.7	16.0	17.4	24.9	20.7
ネクタリン	3	1	0.1	0.1	0.1	0.1
あんず (アブリコットを含む。)	5	1.123	0.2	0.1	0.1	0.4
すもも (ブルーンを含む。)	10	1.4	1.5	1.0	0.8	1.5
うめ	5	1.36	1.9	0.4	0.8	2.4
おうとう (チェリーを含む。)	25	11	4.4	7.7	1.1	3.3
いちご	15	4.2	22.7	32.8	21.8	24.8
ラズベリー	20	8.3	0.8	0.8	0.8	0.8
ブラックベリー	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ブルーベリー	20	6.9	7.6	4.8	3.5	9.7
クランベリー	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ハックルベリー	20	6.9	0.7	0.7	0.7	0.7
その他のベリー類果実	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ぶどう	25	3.7	32.2	30.3	74.7	33.3
かき	2	0.957	9.5	1.6	3.7	17.4
パパイヤ	5	1.665	0.3	0.5	0.2	0.2
パイナップル	0.5	0.093	0.2	0.2	0.1	0.2
マンゴー	5	1.275	0.4	0.4	0.1	0.4
その他の果実	10	1.4	1.7	0.6	1.3	2.4
アーモンド	0.3	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.5	0.09	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のスパイス (根又は根茎に限る。)	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	15	5.325	4.8	1.6	0.5	7.5
陸棲哺乳類の肉類	0.1	筋肉 0.163 脂肪 0.1	8.7	6.5	9.7	6.2
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.2	0.196	0.3	0.2	0.9	0.2
陸棲哺乳類の乳類	0.02	0.102	26.9	33.9	37.2	22.0
家さんの肉類	0.09	0.106	2.3	1.6	2.4	1.7
家さんの卵類	0.09	0.107	4.5	3.6	5.2	4.1
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			600.1	502.0	663.8	689.2
ADI比 (%)			10.9	30.4	11.3	12.3

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

かきについては、プロポーショナリティ (proportionality) の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

メロン類果実 (果皮を含む。)

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

キャプタンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARfD (%)
小麦	小麦	6	○ 0.52	0.7	0
大麦	大麦	40	○ 12.1	10.4	0
	麦茶	40	○ 12.1	9.8	0
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.1	0
大豆	大豆	0.01	0.01	0.0	0
小豆類	いんげん	1	○ 0.375	0.6	0
らっかせい	らっかせい	0.01	0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.05	0.5	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.01	0.01	0.1	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	0.01	0.01	0.1	0
かぶ類の根	かぶの根	0.01	0.01	0.1	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.01	0.01	0.0	0
はくさい	はくさい	2	2	25.9	1
キャベツ	キャベツ	0.01	0.01	0.1	0
ケール	ケール	0.01	0.01	0.1	0
こまつな	こまつな	0.01	0.01	0.0	0
きょうな	きょうな	0.01	0.01	0.0	0
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.01	0.01	0.1	0
カリフラワー	カリフラワー	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	0.01	0.1	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.01	0.01	0.1	0
	菜花	0.01	0.01	0.0	0
ごぼう	ごぼう	0.02	0.02	0.1	0
しゅんぎく	しゅんぎく	0.01	0.01	0.0	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2	2	11.3	0
たまねぎ	たまねぎ	0.3	0.3	2.5	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.7	0.7	2.7	0
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	0.01	0.01	0.0	0
わけぎ	わけぎ	0.01	0.01	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	5	5	8.8	0
	らっきょう	5	5	5.3	0
にんじん	にんじん	0.01	0.01	0.0	0
	にんじんジュース	0.01	0.01	0.1	0
パセリ	パセリ（生）	15	15	2.4	0
	パセリ（乾燥）	15	○ 5.325	4.8	0
セロリ	セロリ	15	15	82.7	3
みつば	みつば	15	15	12.1	0
その他のせり科野菜	せり	15	15	24.6	1
トマト	トマト	15	15	164.2	5
ピーマン	ピーマン	0.02	0.02	0.1	0
なす	なす	3	3	19.4	1
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	0.05	0.05	0.1	0
	ししとう	0.05	0.05	0.1	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	○ 1.5	9.5	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	3	3	29.5	1
	ズッキーニ	3	3	21.7	1
しろうり	しろうり	10	○ 0.13	1.1	0
すいか（果皮を含む。）	すいか	3	3	98.8	3
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	20	0.2	3.4	0

キャプタンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg体重)	ESTI/ARfD (%)
その他のうり科野菜	とうがん	0.01	0.01	0.2	0
	にがうり	0.01	0.01	0.1	0
ほうれんそう	ほうれんそう	10	10	48.4	2
オクラ	オクラ	0.05	0.05	0.1	0
しょうが	しょうが	0.3	○ 0.12	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	0.01	0.01	0.0	0
	未成熟えんどう (豆)	0.01	0.01	0.0	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.01	0.01	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.01	0.01	0.0	0
その他の野菜	ずいき	0.05	○ 0.05	0.5	0
	もやし	0.05	○ 0.05	0.1	0
	れんこん	0.05	○ 0.05	0.3	0
	そら豆 (生)	0.05	○ 0.05	0.1	0
りんご	りんご	15	15	214.3	7
	りんご果汁	15	○ 5.24	55.5	2
日本なし	日本なし	15	○ 6.79	102.7	3
西洋なし	西洋なし	15	○ 6.79	95.3	3
もも (果皮及び種子を含む。)	もも	20	○ 16	217.0	7
すもも (プルーンを含む。)	プルーン	10	○ 7.9	46.3	2
うめ	うめ	5	5	6.9	0
おうとう (チェリーを含む。)	おうとう	25	○ 21	52.4	2
いちご	いちご	15	○ 12	45.8	2
ブルーベリー	ブルーベリー	20	○ 18	25.8	1
ぶどう	ぶどう	25	○ 22	296.4	10
かき	かき	2	2	28.6	1
パイナップル	パイナップル	0.5	0.5	7.5	0
マンゴー	マンゴー	5	5	67.4	2
その他の果実	いちじく	10	○ 7.9	60.6	2
アーモンド	アーモンド	0.3	○ 0.05	0.0	0
くるみ	くるみ	0.5	○ 0.09	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁 (値が100を超える場合は有効数字2桁) とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

メロン類果実 (果皮を含む。) については、作物残留試験結果における果肉の残留濃度を用いて短期摂取量を推計した。

かきについては、プロポーショナリティ (proportionality) の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

キャプタンの推定摂取量（短期）：幼児（1～6歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg体重)	ESTI/ARfD (%)
小麦	小麦	6	○ 0.52	1.5	0
大麦	大麦	40	○ 12.1	8.4	0
	麦茶	40	○ 12.1	21.5	1
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.2	0
大豆	大豆	0.01	0.01	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.01	0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.05	1.1	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.01	0.01	0.2	0
はくさい	はくさい	2	2	31.4	1
キャベツ	キャベツ	0.01	0.01	0.2	0
こまつな	こまつな	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	0.01	0.1	0
ごぼう	ごぼう	0.02	0.02	0.1	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2	2	19.6	1
たまねぎ	たまねぎ	0.3	0.3	5.3	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.7	0.7	4.5	0
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
にんじん	にんじん	0.01	0.01	0.1	0
パセリ	パセリ（生）	15	15	2.6	0
トマト	トマト	15	15	407.4	10
ピーマン	ピーマン	0.02	0.02	0.1	0
なす	なす	3	3	46.9	2
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	○ 1.5	21.9	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	3	3	48.1	2
すいか（果皮を含む。）	すいか	3	3	259.7	9
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	20	0.2	5.9	0
ほうれんそう	ほうれんそう	10	10	112.3	4
オクラ	オクラ	0.05	0.05	0.2	0
しょうが	しょうが	0.3	○ 0.12	0.2	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.01	0.01	0.0	0
	未成熟えんどう（豆）	0.01	0.01	0.0	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.01	0.01	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.01	0.01	0.0	0
その他の野菜	もやし	0.05	○ 0.05	0.2	0
	れんこん	0.05	○ 0.05	0.5	0
りんご	りんご	15	15	481.5	20
	りんご果汁	15	○ 5.24	176.8	6
日本なし	日本なし	15	○ 6.79	195.2	7
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	20	○ 16	678.7	20
うめ	うめ	5	5	17.1	1
いちご	いちご	15	○ 12	129.6	4
ぶどう	ぶどう	25	○ 22	673.5	20
かき	かき	2	2	41.8	1
パイナップル	パイナップル	0.5	0.5	16.0	1
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

メロン類果実（果皮を含む。）については、作物残留試験結果における果肉の残留濃度を用いて短期摂取量を推計した。

かきについては、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

キャプタンの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARfD (%)
小麦	小麦	6	○ 0.52	0.7	0
大麦	大麦	40	○ 12.1	9.7	3
	麦茶	40	○ 12.1	9.0	3
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.1	0
大豆	大豆	0.01	0.01	0.0	0
小豆類	いんげん	1	○ 0.375	0.6	0
らっかせい	らっかせい	0.01	0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	○ 0.05	0.5	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.01	0.01	0.1	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	0.01	0.01	0.1	0
かぶ類の根	かぶの根	0.01	0.01	0.1	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.01	0.01	0.0	0
はくさい	はくさい	2	2	23.2	8
キャベツ	キャベツ	0.01	0.01	0.1	0
ケール	ケール	0.01	FALSE	0.0	0
こまつな	こまつな	0.01	0.01	0.0	0
きょうな	きょうな	0.01	0.01	0.0	0
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.01	0.01	0.1	0
カリフラワー	カリフラワー	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	0.01	0.1	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.01	0.01	0.1	0
	菜花	0.01	0.01	0.0	0
ごぼう	ごぼう	0.02	0.02	0.1	0
しゅんぎく	しゅんぎく	0.01	0.01	0.0	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2	2	11.3	4
たまねぎ	たまねぎ	0.3	0.3	2.3	1
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.7	0.7	2.4	1
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	0.01	0.01	0.0	0
わけぎ	わけぎ	0.01	0.01	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	5	5	8.8	3
	らっきょう	5	5	6.4	2
にんじん	にんじん	0.01	0.01	0.0	0
	にんじんジュース	0.01	0.01	0.1	0
パセリ	パセリ（生）	15	15	2.0	1
	パセリ（乾燥）	15	○ 5.325	4.8	2
セロリ	セロリ	15	15	80.8	30
みつば	みつば	15	15	8.7	3
その他のせり科野菜	せり	15	15	24.6	8
トマト	トマト	15	15	147.5	50
ピーマン	ピーマン	0.02	0.02	0.0	0
なす	なす	3	3	18.0	6
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	0.05	0.05	0.1	0
	ししとう	0.05	0.05	0.1	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	○ 1.5	9.1	3
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	3	3	28.6	10
	ズッキーニ	3	3	21.7	7
しろうり	しろうり	10	○ 0.13	1.1	0
すいか（果皮を含む。）	すいか	3	3	101.9	30
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	20	0.2	3.6	1
その他のうり科野菜	とうがん	0.01	0.01	0.2	0
	にがうり	0.01	0.01	0.1	0
ほうれんそう	ほうれんそう	10	10	45.3	20
オクラ	オクラ	0.05	0.05	0.1	0
しょうが	しょうが	0.3	○ 0.12	0.1	0

キャプタンの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg体重)	ESTI/ARfD (%)
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.01	0.01	0.0	0
	未成熟えんどう（豆）	0.01	0.01	0.0	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.01	0.01	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.01	0.01	0.0	0
その他の野菜	ずいき	0.05	○ 0.05	0.5	0
	もやし	0.05	○ 0.05	0.1	0
	れんこん	0.05	○ 0.05	0.3	0
	そら豆（生）	0.05	○ 0.05	0.1	0
りんご	りんご	15	15	204.4	70
	りんご果汁	15	○ 5.24	55.5	20
日本なし	日本なし	15	○ 6.79	98.5	30
西洋なし	西洋なし	15	○ 6.79	95.2	30
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	20	○ 16	205.2	70
すもも（ブルーンを含む。）	ブルーン	10	○ 7.9	46.3	20
うめ	うめ	5	5	6.8	2
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	25	○ 21	52.4	20
いちご	いちご	15	○ 12	40.2	10
ブルーベリー	ブルーベリー	20	○ 18	25.8	9
ぶどう	ぶどう	25	○ 22	288.3	100
かき	かき	2	2	25.6	9
パイナップル	パイナップル	0.5	0.5	7.2	2
マンゴー	マンゴー	5	5	67.5	20
その他の果実	いちじく	10	○ 7.9	60.5	20
アーモンド	アーモンド	0.3	○ 0.05	0.0	0
くるみ	くるみ	0.5	○ 0.09	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

メロン類果実（果皮を含む。）については、作物残留試験結果における果肉の残留濃度を用いて短期摂取量を推計した。

かきについては、プロポーショナルリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

(参考)

これまでの経緯

昭和44年11月20日	初回農薬登録
平成17年11月29日	残留基準告示
平成19年6月25日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成21年11月2日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：小麦、りんご等）
平成21年12月14日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成25年5月13日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請
平成29年3月7日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成29年10月12日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成30年7月3日	残留基準告示
平成29年3月7日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ぶどう、せり科葉菜類）
平成30年6月21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成30年7月24日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成31年3月29日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和元年10月31日	残留基準告示
平成31年3月25日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：オクラ及びくるみ）
令和2年11月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和3年2月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和3年7月7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和4年2月25日	残留基準告示
令和5年6月6日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ミニトマト）

令和	6年	3月11日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：小麦、麦類（小麦を除く））及び畜産物への基準値設定依頼
令和	8年	9月3日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和	8年	10月30日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

キャプタンについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

キャプタン

今回残留基準を設定する「キャプタン」の規制対象は、農産物及びはちみつにあっては、キャプタンとし、畜産物にあっては、キャプタン及び代謝物B【3a, 4, 7, 7a-テトラヒドロ-1*H*-イソインドール-1, 3(2*H*)-ジオン】とする。ただし、代謝物Bはキャプタンの濃度に換算するものとする。

食品名	残留基準値 ppm
小麦	6
大麦	40
ライ麦	40
とうもろこし	0.01
その他の穀類 ^{注1)}	40
大豆	0.01
小豆類 ^{注2)}	1
えんどう	0.01
そら豆	0.01
らっかせい	0.01
その他の豆類 ^{注3)}	0.01
ばれいしょ	0.05
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.01
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.01
かぶ類の根	0.01
かぶ類の葉	0.01
西洋わさび	0.05
クレソン	0.01
はくさい	2
キャベツ	0.01
芽キャベツ	0.01
ケール	0.01
こまつな	0.01
きょうな	0.01
チンゲンサイ	0.01
カリフラワー	0.01

食品名	残留基準値 ppm
ブロッコリー	0.01
その他のあぶらな科野菜 ^{注4)}	0.01
ごぼう	0.02
サルシフィー	0.01
アーティチョーク	0.01
チコリ	0.01
エンダイブ	0.01
しゅんぎく	0.01
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2
その他のきく科野菜 ^{注5)}	0.05
たまねぎ	0.3
ねぎ（リーキを含む。）	0.7
にんにく	0.01
にら	0.01
アスパラガス	0.01
わけぎ	0.01
その他のゆり科野菜 ^{注6)}	5
にんじん	0.01
パースニップ	0.01
パセリ	15
セロリ	15
みつば	15
その他のせり科野菜 ^{注7)}	15
トマト	15
ピーマン	0.02
なす	3
その他のなす科野菜 ^{注8)}	0.05
きゅうり（ガーキンを含む。）	3
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	3
しろうり	10
すいか（果皮を含む。）	3
メロン類果実（果皮を含む。）	20
まくわうり（果皮を含む。）	10
その他のうり科野菜 ^{注9)}	0.01

食品名	残留基準値 ppm
ほうれんそう	10
オクラ	0.05
しょうが	0.3
未成熟えんどう	0.01
未成熟いんげん	0.01
えだまめ	0.01
その他の野菜 ^{注10)}	0.05
りんご	15
日本なし	15
西洋なし	15
マルメロ	8
もも（果皮及び種子を含む。）	20
ネクタリン	3
あんず（アプリコットを含む。）	5
すもも（プルーンを含む。）	10
うめ	5
おうとう（チェリーを含む。）	25
いちご	15
ラズベリー	20
ブラックベリー	0.01
ブルーベリー	20
クランベリー	0.01
ハuckleベリー	20
その他のベリー類果実 ^{注11)}	0.01
ぶどう	25
かき	2
パパイヤ	5
パイナップル	0.5
マンゴー	5
その他の果実 ^{注12)}	10
アーモンド	0.3
くるみ	0.5
その他のスパイス ^{注13)}	0.05
その他のハーブ ^{注14)}	15

食品名	残留基準値 ppm
牛の筋肉	0.1
豚の筋肉	0.02
その他の陸棲哺乳類に属する動物 ^{注15)} の筋肉	0.1
牛の脂肪	0.04
豚の脂肪	0.01
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.04
牛の肝臓	0.2
豚の肝臓	0.03
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.2
牛の腎臓	0.2
豚の腎臓	0.02
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2
牛の食用部分 ^{注16)}	0.2
豚の食用部分	0.03
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2
乳	0.02
鶏の筋肉	0.06
その他の家きん ^{注17)} の筋肉	0.06
鶏の脂肪	0.04
その他の家きんの脂肪	0.04
鶏の肝臓	0.09
その他の家きんの肝臓	0.09
鶏の腎臓	0.09
その他の家きんの腎臓	0.09
鶏の食用部分	0.09
その他の家きんの食用部分	0.09
鶏の卵	0.09
その他の家きんの卵	0.09
はちみつ	0.05
干しぶどう	50

注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注5) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注7) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注9) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注10) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注11) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注12) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（ブルーベリーを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイア、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注13) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注14) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注15) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注16) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注17) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

キャプタン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：キャプタン[Captan (ISO)]

(2) 用 途：殺菌剤

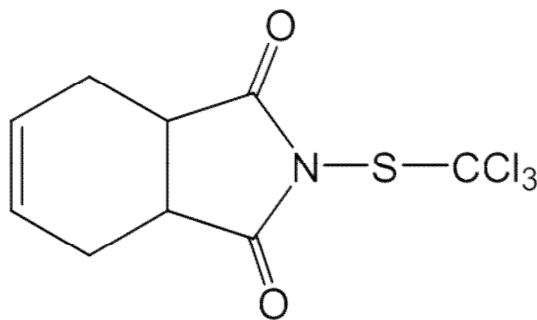
フタルイミド構造を有する殺菌剤である。主に菌体酵素のチオール基やアミノ基と反応し酵素活性を阻害することにより、殺菌作用を示すものと考えられている。

(3) 化学名及びCAS 番号

2-[(Trichloromethyl)thio]-3a, 4, 7, 7a-tetrahydro-1*H*-isoindole-1, 3(2*H*)-dione (IUPAC)

1*H*-Isoindole-1, 3(2*H*)-dione, 3a, 4, 7, 7a-tetrahydro-2-[(trichloromethyl)thio]-
(CAS : No. 133-06-2)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_9H_8Cl_3NO_2S$
分子量	300.59
水溶解度	4.9×10^{-3} g/L (20°C)
分配係数	$\log_{10}Pow = 2.5$ (20°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

（１）国内での使用方法

① 80.0%キャプタン水和剤

作物名	適用	希釈倍数 又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	キャプタンを 含む農薬の総 使用回数
小麦	赤かび病 葉枯症	600～1000倍	60～150 L/10 a	収穫14日 前まで	4回以内	散布	4回以内
	黒変病 黒点病	1000倍					
いんげんまめ	炭疽病	600～1200倍	100～300 L/10 a	収穫30日 前まで	2回以内		3回以内 (種子粉衣は1 回以内、は種後 は2回以内)
はくさい	黒斑病 白斑病 苗立枯病			600倍	収穫7日 前まで		5回以内
	べと病 炭疽病						
ごぼう	黒斑病	800倍		収穫14日 前まで			
たまねぎ	灰色かび病 白色疫病 苗立枯病	600倍		収穫前日 まで			
葉たまねぎ				収穫7日 前まで			
トマト	疫病	800～1200倍		収穫前日 まで	5回以内		5回以内 (種子粉衣は 1回以内)
	葉かび病 灰色かび病	800倍					
きゅうり	炭疽病 褐斑病	600～800倍		収穫14日 前まで			
	べと病	600倍					
かぼちゃ しろうり	炭疽病	400～800倍		2回以内			
	すいか メロン	べと病 つる枯病			600倍		
		炭疽病		400～800倍			
	しょうが	白星病		600倍	収穫3日 前まで		2回以内

① 80.0%キャプタン水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数 又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	キャプタンを 含む農薬の 総使用回数			
りんご	黒星病	600～1000倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	6回以内	散布	6回以内			
	黒点病	800～1200倍								
	斑点落葉病 輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病	600～800倍								
	炭疽病	800倍								
	なし	赤星病 黒星病 輪紋病		600～1000倍	収穫3日 前まで		9回以内	9回以内		
疫病		1000倍								
炭疽病		800倍								
マルメロ	黒点病	1000倍		収穫14日 前まで	6回以内		6回以内			
もも	縮葉病	600 倍		発芽前	4回以内		4回以内			
小粒核果類	黒星病	800～1000倍		収穫21日 前まで	3回以内		3回以内			
	すす斑病	800倍								
おうとう	褐色せん孔病 灰星病 炭疽病		収穫3日 前まで	5回以内	5回以内					
	灰色かび病 炭疽病 芽枯病						100～300 L/10 a			
いちご	炭疽病 芽枯病		収穫30日 前まで	3回以内	3回以内					
ブルーベリー	斑点病	500～1000倍	200～700 L/10 a	収穫21日 前まで	2回以内	5回以内 （生育期は2 回以内、収穫 終了後～落葉 期は3回以内）				
	すす点病 灰色かび病	500倍								
ぶどう	晩腐病 褐斑病 灰色かび病 べと病 枝膨病 黒とう病	800倍		収穫30日 前まで	3回以内	3回以内				
	落葉病 炭疽病 すす点病	1000倍								
	パパイヤ	炭疽病					600倍	収穫14日 前まで	3回以内	3回以内

① 80.0%キャプタン水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数 又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	キャプタンを 含む農薬の 総使用回数
パイナップル	根腐萎凋病	500倍	300～400 L/10 a	収穫21日 前まで	3回以内	散布	3回以内
マンゴー	炭疽病	600倍	200～700 L/10 a	収穫7日 前まで			
くるみ					4回以内		4回以内
せり科葉菜類 (せりを除く)	苗立枯病	800倍	2 L/㎡	は種後から 2～3葉期 まで	2回以内	灌注	3回以内 (種子粉衣は 1回以内、は種 後は2回以内)
トマト きゅうり なす メロン すいか しろうり かぼちゃ		種子重量の 0.2～0.4%	—	は種前	1回	種子粉衣	5回以内 (種子粉衣は 1回以内)
		800倍	2 L/㎡	は種後から 2～3葉期 まで	5回以内	灌注	
ピーマン		種子重量の 0.2～0.4%	—	は種前	1回	種子粉衣	2回以内 (種子粉衣は 1回以内)
とうがらし類		800倍	2 L/㎡	は種後から 2～3葉期 まで	2回以内	灌注	3回以内 (種子粉衣は 1回以内、は種 後は2回以内)
オクラ							3回以内 (種子粉衣は 1回以内、灌注 後は2回以内)
しょうが		根茎腐敗病	塊茎重量の 2%	—	植付前	1回	塊茎粉衣
	400倍		3 L/㎡	収穫30日 前まで	2回以内	灌注	
野菜類 (いも 類を除く) 未成熟とうも ろこし※	ピシウム・リ ゾクトニア菌 による病害 (苗立枯病)	種子重量の 0.2～0.4%	—	は種前	1回	種子処理 機による 種子粉衣	1回

注) —：規定されていない項目

※現在の登録は「野菜類、豆類（種実）、未成熟とうもろこし」であるが、今般の適用拡大の登録の際に、表に記載の内容に変更される予定。

② 70.0%キャプタン・7.5%ペンチオピラド水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数
りんご	斑点落葉病 黒点病 褐斑病 炭疽病 輪紋病 うどんこ病 黒星病 モニリア病 すす点病 すす斑病	1000倍	200～700 L/10 a	収穫前日まで	3回以内	散布	6回以内
なし	黒星病 輪紋病 炭疽病 うどんこ病			収穫3日前まで			9回以内

③ 60.0%キャプタン・5.0%ポリオキシシン水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数
トマト	灰色かび病	600～800倍	100～300 L/10 a	収穫前日まで	3回以内	散布	5回以内 (種子粉衣は1回以内)
きゅうり	うどんこ病 べと病	500倍			2回以内		
りんご	斑点落葉病 うどんこ病 黒点病	1000倍	200～700 L/10 a	収穫14日前まで	3回以内		6回以内
	黒星病	800～1000倍					
なし	黒星病 黒斑病	1000倍		収穫7日前まで	5回以内		9回以内
いちご	灰色かび病 うどんこ病	500倍	100～300 L/10 a	収穫開始 30日前まで	3回以内		3回以内

④ 60.0%キャプタン・10.0%ベノミル水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数
トマト	葉かび病	600倍	100～300 L/10 a	収穫前日まで	3回以内	散布	5回以内 (種子粉衣は1回以内)
なす	灰色かび病	500～600倍		収穫開始3日前まで	1回		
きゅうり				収穫前日まで	3回以内		
なし	炭疽病	600～800倍	200～700 L/10 a	収穫7日前まで	4回以内		9回以内
	輪紋病	500～600倍					
おうとう	黒星病	600～800倍		収穫14日前まで	2回以内	5回以内	
	灰星病 炭疽病						

⑤ 50.0%キャプタン・10.0%テブコナゾール水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数
小麦	赤かび病 赤さび病 黒変病 うどんこ病 葉枯病	500倍	60～150 L/10 a	収穫14日前まで	2回以内	散布	4回以内

⑥ 50.0%キャプタン・2.4%テトラコナゾール水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう (露地栽培)	べと病	500倍	200～300 L/10 a	収穫14日前まで	1回	散布	1回

⑦ 50.0%キャプタン・7.0%ピコキシストロビン水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数
りんご	黒星病 斑点落葉病 褐斑病 炭疽病 すす点病 すす斑病	1000倍	200～700 L/10 a	収穫前日まで	3回以内	散布	6回以内

⑧ 45.0%キャプタン・20.0%イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	褐斑病 炭疽病 うどんこ病 べと病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内 (種子粉衣は1回以内)
たまねぎ	灰色かび病						6回以内 (種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内)
りんご	黒星病	800～1000倍	200～700 L/10 a		6回以内 (ただし、開花期以降散布は3回以内)		6回以内
	すす点病 すす斑病 斑点落葉病 炭疽病 褐斑病 黒点病 輪紋病						
なし	輪紋病 黒星病 うどんこ病 黒斑病 炭疽病	収穫14日前まで		4回以内	9回以内		
ぶどう	べと病 黒とう病 晩腐病	収穫60日前まで		2回以内	3回以内		
もも	縮葉病	休眠期		1回	4回以内		
おうとう	灰星病 幼果菌核病	収穫14日前まで		3回以内			5回以内
かき	うどんこ病						

⑨ 40.0%キャプタン・40.0%ホセチル水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数	
きゅうり	べと病 褐斑病	400～800倍	100～300 L/10 a	収穫前日まで	3回以内	散布	5回以内 (種子粉衣は1回以内)	
りんご	斑点落葉病 黒星病 輪紋病 すす点病 すす斑病 炭疽病 褐斑病	800倍	200～700 L/10 a				9回以内	
なし	黒斑病 輪紋病	400～800倍		収穫14日前まで				6回以内
ぶどう	べと病 黒とう病	400～600倍		収穫30日前まで				3回以内
	晩腐病							
もも	縮葉病	800倍		発芽前	2回以内		4回以内	
おうとう	褐色せん孔病		収穫14日前まで	5回以内				

⑩ 20.0%キャプタン・30.0%有機銅水和剤

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数		
はくさい	軟腐病 黒斑病	500倍	100～300 L/10 a	収穫30日 前まで	5回以内	散布	6回以内 （種子粉衣は1 回以内、は種後 は5回以内）		
レタス	斑点細菌病 腐敗病								
ねぎ	黒斑病 べと病	600倍		収穫14日 前まで					
トマト	葉かび病 疫病	400～800倍		収穫前日 まで			5回以内	散布	5回以内 （種子粉衣は 1回以内）
	輪紋病	500倍							
きゅうり	べと病 炭疽病	400～800倍							
	斑点細菌病	400～600倍							
すいか	つる枯病	500倍		収穫14日 前まで					
	炭疽病	500～600倍							
メロン	斑点細菌病								
	つる枯病	500倍							

⑩ 20.0%キャプタン・30.0%有機銅水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数
りんご	黒点病 斑点落葉病 黒星病 輪紋病	500～800倍	200～700 L/10 a	収穫14日 前まで	4回以内	散布	6回以内
	褐斑病 すす点病 すす斑病 炭疽病	500～600倍					
なし	黒星病 黒斑病 輪紋病	500倍		収穫3日 前まで	9回以内		9回以内
	炭疽病 褐色斑点病 黒斑細菌病						
もも	縮葉病			発芽前	4回以内		4回以内
おうとう	せん孔病	600倍		収穫終了後～ 落葉期まで	3回以内		5回以内
ベリー類 (ブルーベリ ーを除く)	斑点病 茎枯病 (ふさ すぐり)						3回以内
ブルーベリー	斑点病						5回以内 (生育期は2回 以内、収穫終了 後～落葉期ま では3回以内)

3. 代謝試験

（1）植物代謝試験

植物代謝試験がトマト、レタス及びりんごで実施されており、可食部で10%TRR^{注1)}以上認められた代謝物はなかった^{注2)}。

注1) %TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

注2) りんごの果肉や果皮それぞれの抽出液において総放射性残留物の10%を超える代謝物が検出されたものの、果実全体に換算した場合に10%TRRを超える代謝物はなかった。

4. 作物残留試験

（1）分析の概要

① 分析対象物質

・キャプタン

② 分析法の概要

試料からリン酸酸性下アセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。アセトニトリル/ヘキサン分配及びフロリジルカラム又はシリカゲルカラムを用いて精製、またはア

セトニトリル/ヘキサン分配後 *n*-ヘキサンに転溶し、フロリジルカラムを用いて精製した後、電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ（GC-ECD）で定量する。

または、試料からリン酸酸性下アセトンで抽出し、*n*-ヘキサン又はジクロロメタンに転溶する。グラファイトカーボンカラム、フロリジルカラム及びシリカゲルカラム、フロリジルカラム及びシリカゲルカラム、フロリジルカラム又はシリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-ECD で定量する。

または、試料からリン酸酸性下アセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム及びグラファイトカーボン・フロリジル・シリカゲル連結カラム又はフロリジルカラムを用いて精製した後、GC-ECD で定量する。

または、試料からリン酸酸性下アセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラムで精製する。アセトニトリル/ヘキサン分配した後、フロリジルカラム、グラファイトカーボン・フロリジル・シリカゲル連結カラム又はグラファイトカーボンカラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、GC-ECD で定量する。

または、試料からリン酸酸性下アセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム並びにフロリジルカラム及び C₁₈ カラム又はフロリジルカラムを用いて精製した後、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ（HPLC-UV）で定量する。

または、試料から塩酸酸性下アセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラムを用いて精製した後、GC-ECD で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、石油エーテル又はジクロロメタン・石油エーテル（1：4）混液に転溶する。アセトニトリル/石油エーテル分配後フロリジルカラムを用いて精製、またはフロリジルカラムを用いて精製した後、GC-ECD で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、ジクロロメタン・石油エーテル（1：4）混液に転溶する。シリカゲル薄層を用いて展開後かき取り、アセトンで抽出して GC-ECD で定量する。

あるいは、試料からリン酸酸性下アセトンで抽出し、水及び酢酸亜鉛二水和物を加えて放置後、ろ過する。*n*-ヘキサンに転溶し、飽和塩化ナトリウム溶液で洗浄した後、GC-ECD で定量する。

定量限界：0.005 ～ 0.5 mg/kg

（２）作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1 を参照。

5. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたキャプタンに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

無毒性量：10 mg/kg 体重/day

(動物種) ウサギ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 発生毒性試験

(期間) 妊娠 7～19 日

安全係数：100

ADI：0.1 mg/kg 体重/day

マウスでは十二指腸に腺腫及び腺癌が認められたが、トランスジェニックマウスを用いた遺伝子突然変異試験において陰性の結果が得られたことも含め、遺伝毒性試験の結果を総合的に勘案した結果、キャプタンは、*in vitro*では遺伝毒性を示すが、生体にとって問題となる遺伝毒性はないと考えられ、腫瘍の発生メカニズムは遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

(参考)

キャプタン（原体）の細菌を用いた復帰突然変異試験、ヒト培養細胞及びラットを用いた UDS^{注)} 試験、マウスリンパ腫細胞を用いた遺伝子突然変異試験、ヒト及びラットカンガルーの培養細胞並びにマウス及びラットを用いた染色体異常試験、トランスジェニックマウスを用いた遺伝子突然変異試験、マウスを用いた小核試験、マウスを用いたスポット試験並びにラット及びマウスを用いた優性致死試験が実施された。（中略）

*in vitro*の復帰突然変異試験、染色体異常試験及びマウスリンパ腫細胞を用いた遺伝子突然変異試験において陽性であったが、UDS試験では*in vitro*及び*in vivo*ともに陰性であった。（中略）トランスジェニックマウスを用いた遺伝子突然変異試験では、肝臓及び十二指腸において陰性であった。（中略）

食品安全委員会は、これらを総合的に判断し、キャプタンは、*in vitro*では遺伝毒性を示すが、発がん標的臓器を含め、生体にとって問題となる遺伝毒性はないと判断した。

注) 不定期 DNA 合成

(2) ARfD

① 国民全体の集団

最大無作用量：300 mg/kg 体重

(動物種) 雄マウス

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 一般薬理試験

安全係数：100

ARfD：3 mg/kg 体重

② 妊婦又は妊娠している可能性のある女性

無毒性量：30 mg/kg 体重/day

(動物種) ウサギ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 発生毒性試験

(投与期間) 妊娠 7～19 日

安全係数：100

ARfD：0.3 mg/kg 体重

6. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価が行われ、1995 年に ADI が、2004 年に ARfD が設定されている。国際基準はきゅうり、おうとう等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、もも等に、カナダにおいてなし、トマト等に、EU においてりんご、おうとう等に、豪州においていちご、ぶどう等に、ニュージーランドにおいて果実、野菜に基準値が設定されている。

7. 基準値案

(1) 残留の規制対象

キャプタンとする。

植物代謝試験において、10%TRRを超えて認められた代謝物がないことから、残留の規制対象はキャプタンのみとする。

(2) 基準値案

別紙 2 のとおりである。

(3) 暴露評価対象

キャプタンとする。

植物代謝試験において、10%TRRを超えて認められた代謝物がないことから、暴露評価対象物質はキャプタンのみとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をキャプタン（親化合物のみ）としている。

(4) 暴露評価

① 長期暴露評価

1 日当たり摂取する農薬等の量の ADI に対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙 3 参照。

	EDI／ADI (%) ^{注)}
国民全体 (1 歳以上)	8.7
幼小児 (1～6 歳)	23.9
妊婦	8.1
高齢者 (65 歳以上)	10.7

注) 各食品の平均摂取量は、平成 17～19 年度食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI 試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量 (ESTI) を算出したところ、国民全体 (1 歳以上)、幼小児 (1～6 歳) 及び妊婦又は妊娠している可能性のある女性 (14～50 歳) のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量 (ARfD) を超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙 4-1、4-2 及び 4-3 参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用い、平成 17～19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成 22 年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTI を算出した。

キャプタンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
小麦 (玄麦)	2	80.0%水和剤	600倍散布 150 L/10 a	4	14, 21, 28	圃場A : 0.26 圃場B : 1.00
未成熟とうもろこし (子実)	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣	1	69 74	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01
いんげんまめ (乾燥子実)	1	80.0%水和剤	600倍散布 70 L/10 a	1	48	圃場A : <0.04 (#)
	1	80.0%水和剤	600倍散布 100 L/10 a	1, 3	7, 51	圃場A : <0.005 (1回, 51日)
	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣 +600倍散布 150 L/10 a	1+2	28, 42, 56	圃場A : <0.5 (3回, 28日)
			0.3%種子粉衣 +600倍散布 300 L/10 a			圃場B : <0.5 (3回, 28日)
はくさい (可食部)	2	80.0%水和剤	600倍散布 150, 200 L/10 a	2, 5	1, 3	圃場A : 0.69 (5回, 3日) (#) 圃場B : 0.79 (5回, 3日) (#)
ごぼう (根部)	2	80.0%水和剤	800倍散布 200 L/10 a	5	14, 21, 28	圃場A : <0.005 圃場B : <0.005
レタス (茎葉)	2	80.0%水和剤	800倍散布 200 L/10 a	5	3, 7, 14	圃場A : 0.200 (5回, 14日) (#) 圃場B : 0.750 (5回, 14日) (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	80.0%水和剤	600倍散布 160, 200 L/10 a	3, 6 4	10, 20	圃場A : <0.01 (6回, 10日) 圃場B : <0.01 (4回, 10日)
				5		圃場A : 0.012 (5回, 3日) 圃場B : 0.082 (5回, 3日)
	2	80.0%水和剤	600倍散布 200 L/10 a	5	1, 3, 7, 14	圃場A : 0.51 (5回, 7日) (#) 圃場B : 0.07 (5回, 7日) (#)
ねぎ (可食部)	2	20.0%水和剤	400倍散布 150~200 L/10 a	5, 10	1, 3, 7	圃場A : 1.18 圃場B : 1.70
葉たまねぎ (可食部)	2	80.0%水和剤	600倍散布 150 L/10 a	5	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.626 (3回, 21日) (#) 圃場B : 2.81 (3回, 21日) (#)
セルリー (茎部)	2	80.0%水和剤	600倍散布 150 L/10 a	3	21, 30, 45 21, 30, 44	圃場A : 0.02 (2回, 30日) 圃場B : 0.02 (2回, 30日)
にんじん (葉)	2	80.0%水和剤	800倍土壌灌注 2 L/m ²	2	30, 45, 59 30, 45, 58	圃場A : 2.64 (2回, 30日) 圃場B : 8.01 (2回, 30日)
コリアンダー (茎葉)	2	80.0%水和剤	800倍土壌灌注 2 L/m ²	2	30, 45, 55	圃場A : 1.56 (#) 圃場B : 2.69 (7回, 3日) (#)
トマト (果実)	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣 +800倍土壌灌注 2 L/m ² +1200倍散布 200~250 L/10 a	1+1+5	1, 3, 7, 14	圃場A : 1.58 (7回, 3日) (#) 圃場B : 1.36 (#)
						圃場A : 1.97 (7回, 7日) (#) 圃場B : 0.58 (#)
	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣 +800倍土壌灌注 2 L/m ² +800倍散布 200~250 L/10 a	1+1+5	1, 3, 7, 14	圃場A : <0.005 圃場B : <0.005
						圃場A : 1.36 (5回, 3日) (#) 圃場B : 0.858 (5回, 1日) (#)
	2	80.0%水和剤	600倍散布 250 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A : 3.17 (5回, 1日) (#) 圃場B : 1.50 (5回, 1日) (#)
						圃場A : <0.005 (#) 圃場B : <0.005 (#)
ピーマン (果実)	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣 +800倍土壌灌注 2 L/m ²	1+1	77 60	圃場A : <0.01 (#) 圃場B : <0.01 (#)
なし (果実)	2	80.0%水和剤	800倍散布 250 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A : <0.01 (2回, 86日) (#) 圃場B : <0.01 (2回, 86日) (#)
ししとう (果実)	2	80.0%水和剤	800倍散布 2 L/m ²	2	46	圃場A : <0.01 (2回, 86日) (#) 圃場B : <0.01 (2回, 86日) (#)
甘長とうがらし (果実)	2	80.0%水和剤	800倍散布 2 L/m ²	2	86, 93, 100	圃場A : <0.01 (2回, 86日) (#) 圃場B : <0.01 (2回, 86日) (#)

キャプタンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり (果実)	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣 +800倍株元灌注 2 L/m ² +600倍散布 100~250 L/10 a	<u>1</u> +1+5	<u>1</u> , 3, 7, 14	圃場A : 1.10 (#)
						圃場B : 0.796 (#)
	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣 +800倍株元灌注 2 L/m ² +800倍散布 100~250 L/10 a	<u>1</u> +1+5	<u>1</u> , 3, 7, 14	圃場A : 1.06 (#)
						圃場B : 0.530 (#)
かぼちゃ (果実)	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣 +800倍散布 2 L/m ² +400倍散布 150~180 L/10 a	<u>1</u> +1+5	<u>14</u> , 21, 30	圃場A : 2.04 (7回, 21日) (#)
						圃場B : 0.083 (7回, 30日) (#)
しろり (果実)	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣 +800倍灌注 2 L/m ² +400倍散布 100~200 L/10 a	<u>1</u> +1+3, <u>1</u> +1+5	7, <u>14</u> , 21	圃場A : 0.018
						圃場B : <0.005
すいか (可食部)	2	80.0%水和剤	400倍散布 300 L/10 a	6	1, 3, 7	圃場A : <0.01 (6回, 7日) (#)
						圃場B : <0.01 (6回, 7日) (#)
	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣 +800倍灌注 2 L/m ²	<u>1</u> +1	70	圃場A : <0.005
					80	圃場B : <0.005
すいか (果肉)	3	80.0%水和剤	400倍散布 202~279 L/10 a	5	<u>14</u> , 21, 28	圃場A : <0.01
						圃場B : 0.02 (5回, 21日)
						圃場C : <0.01
すいか (果実)	3	80.0%水和剤	400倍散布 202~279 L/10 a	5	<u>14</u> , 21, 28	圃場A : 0.12
						圃場B : 0.97
						圃場C : 0.08
メロン (果肉)	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣 +800倍灌注 2 L/m ² +400倍散布 200 L/10 a	<u>1</u> +1+3, <u>1</u> +1+5	1, 3, 7, <u>14</u>	圃場A : <0.005
						圃場B : <0.005
	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣	<u>1</u>	99	圃場A : <0.01
					101	圃場B : <0.01
	2	80.0%水和剤	800倍散布 2 L/m ²	<u>2</u>	60, 63, 67	圃場A : <0.01
						圃場B : <0.01
	3	80.0%水和剤	400倍散布 262~280 L/10 a	5	7, <u>14</u> , 21	圃場A : 0.02
						圃場B : 0.08 (5回, 21日)
メロン (果実)	3	80.0%水和剤	400倍散布 262~280 L/10 a	5	7, <u>14</u> , 21	圃場C : <0.01
						圃場A : 2.78
						圃場B : 7.19 (5回, 21日)
ほうれんそう (茎葉)	2	50.0%水和剤	500倍散布 180~182.86 L/10 a	<u>1</u>	<u>14</u> , 21, 28	圃場A : 6.40
						圃場B : 1.70
オクラ (果実)	2	80.0%水和剤	800倍灌注 2 L/m ²	<u>2</u>	60, 63, 67	圃場A : <0.01 (2回, 60日)
						圃場B : <0.01 (2回, 60日)
しょうが (根茎)	2	80.0%水和剤	塊茎重量の2%粉衣	<u>1</u>	167	圃場A : 0.02
					194	圃場B : 0.02
	3	80.0%水和剤	塊茎重量の2%粉衣 +400倍灌注 3 L/m ² +600倍散布 150~200 L/10 a	<u>1</u> +2+2	3, 7, 14, 21	圃場A : 0.06 (5回, 14日)
					3, 7, 14	圃場B : 0.08 (5回, 7日)
	1	80.0%水和剤	400倍灌注 3 L/m ² +600倍散布 150~200 L/10 a	2+2	3, 7, 14, 21	圃場C : 0.06
種しょうが (根茎)	1	80.0%水和剤	塊茎重量の2%粉衣 +400倍灌注 3 L/m ² +600倍散布 150~200 L/10 a	<u>1</u> +2+2	3, 7, 14	圃場A : 0.12 (4回, 7日)
	1	80.0%水和剤	400倍灌注 3 L/m ² +600倍散布 150~200 L/10 a	2+2	3, 7, 14, 21	圃場A : 10.0
えだまめ (さや)	2	80.0%水和剤	0.4%種子粉衣	<u>1</u>	67	圃場B : 0.03
					68	圃場A : <0.01
						圃場B : <0.01

(別紙1)

キャプタンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご (果実)	1	80.0%水和剤	800倍散布 50 L/樹	4, 9	56, 77	圃場A : 0.06 (4回, 77日) (#)
	1	80.0%水和剤	600倍散布 500~700 L/10 a	13	1, 3, 5, 10	圃場A : 0.039 (13回, 5日) (#)
	2	80.0%水和剤	600倍散布 600 L/10 a	8	3, 7, 14, 21	圃場A : 1.82 (8回, 21日) (#) 圃場B : 4.24 (8回, 7日) (#)
	2	80.0%水和剤	800倍散布 600 L/10 a	6	3, 7, 14, 21	圃場A : 3.62 ^{注2)} (6回, 14日)
					3, 7, 15, 22	圃場B : 2.74 ^{注2)} (6回, 15日)
	2	80.0%水和剤	600倍散布 600 L/10 a	6	3, 7, 14, 21	圃場A : 7.00 (6回, 7日)
					3, 7, 15, 22	圃場B : 7.24 (6回, 7日)
	2	80.0%水和剤	800倍散布 500, 600 L/10 a	6	3, 7, 14, 21	圃場A : 3.87 ^{注2)} (6回, 14日) 圃場B : 0.56 ^{注2)} (6回, 14日)
なし (果実)	2	80.0%水和剤	600倍散布 500, 400 L/10 a	5, 7, 9	3, 7, 14	圃場A : 1.34 圃場B : 6.79 (5回, 3日)
	2	80.0%水和剤	600倍散布 400 L/10 a	9	3, 7, 14	圃場A : 4.51 (9回, 7日) 圃場B : 2.24
	2	80.0%水和剤	600倍散布 300, 350 L/10 a	9	3, 7, 14, 21	圃場A : 3.31 圃場B : 2.33
もも (果肉)	2	80.0%水和剤	600倍散布 600, 300 L/10 a	8	2, 5, 10	圃場A : 1.31 (8回, 5日) (#)
					1, 5, 10	圃場B : 0.893 (8回, 1日) (#)
あんず (果実)	2	80.0%水和剤	600倍散布 600, 400 L/10 a	6	1, 3, 7	圃場A : 0.550 (6回, 7日) (#)
					1, 3, 7	圃場B : 0.351 (6回, 1日) (#)
うめ (果実)	2	80.0%水和剤	800倍散布 10 L/樹 800倍散布 350 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : 0.466 圃場B : 1.78
	2	80.0%水和剤	600倍散布 500 L/10 a	3, 5	14, 21	圃場A : 0.805 (#) 圃場B : 1.83 (#)
	2	80.0%水和剤	800倍散布 200, 600 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : 1.00 圃場B : 1.91
おうとう (果実)	2	80.0%水和剤	600倍散布 500 L/10 a	5	14	圃場A : 2.96 (#) 圃場B : 2.61 (#)
	2	80.0%水和剤	800倍散布 500~700 L/10 a	2, 3, 4	7, 14, 20	圃場A : 0.49 (4回, 7日) 圃場B : 4.60 (4回, 7日)
	2	80.0%水和剤	800倍散布 700 L/10 a	4, 5	14, 21	圃場A : 2.28 (5回, 14日) 圃場B : 1.50 (5回, 14日)
	2	80.0%水和剤	1000倍散布 700 L/10 a	5		圃場A : 2.20 (5回, 14日) (#) 圃場B : 1.24 (5回, 14日) (#)
いちご (果実)	2	80.0%水和剤	800倍散布 500 L/10 a	5	3, 7, 14, 21	圃場A : 3.86 圃場B : 2.66
					3, 7, 14	
ブルーベリー (果実)	2	80.0%水和剤	800倍散布 150 L/10 a 600倍散布 150 L/10 a	2, 3	21, 30, 45	圃場A : 0.476 圃場B : 0.216
	2	80.0%水和剤	500倍散布 600 L/10 a	2	21, 30, 45	圃場A : 4.2 圃場B : 6.8
ぶどう (果実)	1	80.0%水和剤	800倍散布 250 L/10 a	3, 5	15, 23	圃場A : 0.429 (3回, 23日) (#)
	1	80.0%水和剤	800倍散布 300 L/10 a	3, 5	13, 27	圃場A : 0.65 (3回, 27日) (#)
	2	80.0%水和剤	800倍散布 300 L/10 a	1, 5, 7	3, 7, 14, 21	圃場A : 1.40 (1回, 21日) (#) 圃場B : 0.72 (1回, 21日) (#)
	3	80.0%水和剤	800倍散布 250, 300 L/10 a	2, 3, 5	3, 7, 14, 21	圃場A : 3.73 (3回, 21日) (#) 圃場B : 3.53 (3回, 21日) (#) 圃場C : 1.70 (3回, 21日) (#)
	4	80.0%水和剤	800倍散布 300 L/10 a	2, 3, 5	14, 21, 30	圃場A : 1.86 圃場B : 0.786 圃場C : 6.34 圃場D : 7.09
	2	80.0%水和剤	800倍散布 300, 500 L/10 a	2	30, 45, 60, 75	圃場A : 4.49 圃場B : 0.63

キャプタンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ぶどう (果実)	3	80.0%水和剤	800倍散布 305～343, 317, 330 L/10 a	<u>3</u>	<u>1, 14, 21, 30</u>	圃場A : 3.16 圃場B : 3.72 圃場C : 3.70
かき (果実)	4	80.0%水和剤	600倍散布 500 L/10 a	<u>5</u>	39, 54, 89	圃場A : 0.232 (5回, 54日) (#)
					42, 56, 89	圃場B : 0.350 (5回, 56日) (#)
					<u>7, 14, 21, 30</u>	圃場C : 2.14 (#) 圃場D : 1.70 (#)
パパイヤ (果実)	2	80.0%水和剤	600倍散布 300 L/10 a	1, 2, <u>3</u>	<u>7, 14, 21</u>	圃場A : 1.07 圃場B : 2.26 (3回, 21日)
パイナップル (果肉)	2	80.0%水和剤	500倍散布 400 L/10 a	1, 2, <u>3</u>	<u>10, 21</u>	圃場A : 0.236 圃場B : 0.117 (2回, 21日)
マンゴー (果実)	2	80.0%水和剤	600倍散布 600 L/10 a	1, 2, <u>3</u>	<u>7, 14, 21</u>	圃場A : 1.89 圃場B : 0.659
くるみ (果仁)	2	80.0%水和剤	800倍散布 600 L/10 a	<u>4</u>	<u>7, 14, 21</u>	圃場A : 0.14 圃場B : <0.04

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) マルメロの適用範囲及び使用方法（1000倍散布、6回、収穫14日前まで）に合致する残留濃度を示している。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
小麦	2	2	○			0.26,1.00(¥)
とうもろこし	0.01	0.01	○			<0.01,<0.01(未成熟とうもろこし)※1
大豆	0.01	0.01	○			※2
小豆類	1	1	○			<0.5,<0.5(いんげんまめ)(¥)
えんどう	0.01	0.01	○			※2
そら豆	0.01	0.01	○			※2
らっかせい	0.01	0.01	○			※2
その他の豆類	0.01	0.01	○			※2
ばれいしょ	0.05	0.05		0.05		
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.01	0.01	○			※2
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	0.01	0.01	○			※2
かぶ類の根	0.01	0.01	○			※2
かぶ類の葉	0.01	0.01	○			※2
西洋わさび	0.05	0.05	○	0.05		
クレソン	0.01	0.01	○			※2
はくさい	2	2	○			0.69,0.79(＃)(¥)
キャベツ	0.01	0.01	○			※2
芽キャベツ	0.01	0.01	○			※2
ケール	0.01	0.01	○			※2
こまつな	0.01	0.01	○			※2
きょうな	0.01	0.01	○			※2
チンゲンサイ	0.01	0.01	○			※2
カリフラワー	0.01	0.01	○			※2
ブロッコリー	0.01	0.01	○			※2
その他のあぶらな科野菜	0.01	0.01	○			※2
ごぼう	0.02	0.02	○			<0.005,<0.005(¥)
サルシフィー	0.01	0.01	○			※2
アーティチョーク	0.01	0.01	○			※2
チコリ	0.01	0.01	○			※2
エンダイブ	0.01	0.01	○			※2
しゅんぎく	0.01	0.01	○			※2
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	1	1	○			0.200,0.750(＃)
その他のきく科野菜	0.05	0.05	○	0.05		
たまねぎ	0.3	0.3	○			0.012,0.082(¥)
ねぎ(リーキを含む。)	2	2	○			0.07,0.51(＃)(¥)
にんにく	0.01	0.01	○			※2
にら	0.01	0.01	○			※2
アスパラガス	0.01	0.01	○			※2
わけぎ	0.01	0.01	○			※2
その他のゆり科野菜	5	5	○			1.18,1.70(葉たまねぎ)(¥)
にんじん	0.01	0.01	○			※2
パースニップ	0.01	0.01	○			※2
パセリ	15	15	○			(その他のせり科野菜参照)
セロリ	15	15	○			(その他のせり科野菜参照)
みつば	15	15	○			(その他のせり科野菜参照)
その他のせり科野菜	15	15	○	0.05		2.64,8.01(コリアンダー)(¥)
トマト	5	5	○	5		
ピーマン	0.02	0.02	○			<0.005,<0.005(¥)
なす	5	5	○			1.50,3.17(＃)
その他のなす科野菜	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(ししとう)(＃)(¥)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
きゅうり(ガーキンを含む。)	3	3	○	3		0.083,2.04(＃)(¥)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	5	5	○			
しろうり	10	10	○	10		
すいか(果皮を含む。)	3	2	○			0.08,0.12,0.97
メロン類果実(果皮を含む。)	20	15	○	10		1.08,2.78,7.19
まくわうり(果皮を含む。)	10	10	○	10		
その他のうり科野菜	0.01	0.01	○			※2
ほうれんそう	15	15	○			1.70,6.40(¥)
たけのこ	0.01	0.01	○			※2
オクラ	0.05	0.01	○・申			<0.01,<0.01(¥)
しょうが	0.3	0.3	○	0.05		0.06～0.12(n=4)
未成熟えんどう	0.01	0.01	○			※2
未成熟いんげん	0.01	0.01	○			※2
えだまめ	0.01	0.01	○			※2
その他の野菜	0.05	0.05	○	0.05		
りんご	15	15	○			2.49,9.47(¥)
日本なし	15	10	○			1.34～6.79(n=6)
西洋なし	15	10	○			(日本なし参照)
マルメロ	9	10	○			0.56～3.87(n=4)(りんご)
もも(果皮及び種子を含む。)	20	20	○	20		0.466,1.78(¥)
ネクタリン	3	3	○	3		
あんず(アプrikottを含む。)	5	5	○			
すもも(ブルーンを含む。)	10	10	○	10		1.00,1.91(¥)
うめ	5	5	○			
おうとう(チェリーを含む。)	25	25	○	25		
いちご	15	15	○	15		※3
ラズベリー	20	20	○	20		
ブラックベリー	0.01	0.01	○			
ブルーベリー	20	20	○	20		※3
クランベリー	0.01	0.01	○			
ハックルベリー	20	20	○	20		
その他のベリー類果実	0.01	0.01	○			※3
ぶどう	25	25	○	25		1.70,2.14(＃)(¥)
かき	5	5	○			
パパイヤ	5	5	○			
パイナップル	0.7	0.7	○			1.07,2.26(¥)
マンゴー	5	5	○			0.117,0.236(¥)
その他の果実	10	10		10		0.659,1.89(¥)
アーモンド	0.3	0.3		0.3		<0.04,0.14(¥)
くるみ	0.5		申			
その他のスパイス(根又は根茎に限る。)	0.05	0.05	○	0.05		
その他のハーブ	15	15	○	0.05		(その他のせり科野菜参照)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
干しぶどう	50	50	○	50	⋮	

申請(国内における登録、承認等の申請、インポートライセンス申請)以外の理由により本基準(暫定基準以外の基準)を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#)これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

(¥)作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。

※1) 未成熟とうもろこしとして登録されている。種子処理の適用であり、残留濃度は極めて低いと推定されることから0.01ppmを設定する。

※2) 野菜類として登録されている。種子処理の適用であり、残留濃度は極めて低いと推定されることから0.01ppmを設定する。

※3) ベリー類として登録されている。使用時期が収穫終了から落葉期までであり、収穫時の残留濃度は極めて低いと考えられることから、0.01ppmを設定する。

※4) 「その他のスパイス(根又は根茎に限る。)」とは、アサフェチダ、ウコン、ガジュツ、ガランガル又はカンゾウの根又は根茎をいう。

キャプタンの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
小麦	2	0.63	119.6	37.7	88.6	27.9	138.0	43.5	99.8	31.4
とうもろこし	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
大豆	0.01	● 0.01	0.4	0.4	0.2	0.2	0.3	0.3	0.5	0.5
小豆類	1	0.5	2.4	1.2	0.8	0.4	0.8	0.4	3.9	2.0
えんどう	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.05	0.05	1.9	1.9	1.7	1.7	2.1	2.1	1.8	1.8
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の根	0.01	● 0.01	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	0.5	0.5
だいこん類 (ラディッシュを含む。)の葉	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
かぶ類の根	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
かぶ類の葉	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
西洋わさび	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	2	0.74	35.4	13.1	10.2	3.8	33.2	12.3	43.2	16.0
キャベツ	0.01	● 0.01	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
芽キャベツ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こまつな	0.01	● 0.01	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
きょうな	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
チンゲンサイ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	0.01	● 0.01	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のあぶらな科野菜	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ごぼう	0.02	0.005	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
サルシフィー	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
チコリ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エンダイブ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
しゅんぎく	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	1	0.475	9.6	4.6	4.4	2.1	11.4	5.4	9.2	4.4
その他のきく科野菜	0.05	0.05	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
たまねぎ	0.3	0.047	9.4	1.5	6.8	1.1	10.6	1.7	8.3	1.3
ねぎ (リーキを含む。)	2	0.29	18.8	2.7	7.4	1.1	13.6	2.0	21.4	3.1
にんにく	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
にら	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わけぎ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	5	1.44	3.0	0.9	0.5	0.1	1.0	0.3	6.0	1.7
にんじん	0.01	● 0.01	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
パースニップ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	15	5.325	1.5	0.5	1.5	0.5	1.5	0.5	3.0	1.1
セロリ	15	5.325	18.0	6.4	9.0	3.2	4.5	1.6	18.0	6.4
みつば	15	5.325	6.0	2.1	1.5	0.5	1.5	0.5	7.5	2.7
その他のせり科野菜	15	5.325	3.0	1.1	1.5	0.5	4.5	1.6	4.5	1.6
トマト	5	0.64	160.5	20.5	95.0	12.2	160.0	20.5	183.0	23.4
ピーマン	0.02	0.005	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0
なす	5	2.335	60.0	28.0	10.5	4.9	50.0	23.4	85.5	39.9
その他のなす科野菜	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	3	0.22	62.1	4.6	28.8	2.1	42.6	3.1	76.8	5.6
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	5	1.062	46.5	9.9	18.5	3.9	39.5	8.4	65.0	13.8
しろうり	10	0.04	5.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	9.0	0.0
すいか (果皮を含む。)	3	0.39	22.8	3.0	16.5	2.1	43.2	5.6	33.9	4.4
メロン類果実 (果皮を含む。)	20	0.037	70.0	0.1	54.0	0.1	88.0	0.2	84.0	0.2
まくわうり (果皮を含む。)	10	0.04	2.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	5.0	0.0
その他のうり科野菜	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ほうれんそう	15	4.05	192.0	51.8	88.5	23.9	213.0	57.5	261.0	70.5
たけのこ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
オクラ	0.05	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
しょうが	0.3	0.08	0.5	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1	0.5	0.1
未成熟えんどう	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未成熟いんげん	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
えだまめ	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	0.05	0.05	0.7	0.7	0.3	0.3	0.5	0.5	0.7	0.7
りんご	15	5.98	363.0	144.7	463.5	184.8	282.0	112.4	486.0	193.8
日本なし	15	3.42	96.0	21.9	51.0	11.6	136.5	31.1	117.0	26.7
西洋なし	15	3.42	9.0	2.1	3.0	0.7	1.5	0.3	7.5	1.7
マルメロ	9	2.698	0.9	0.3	0.9	0.3	0.9	0.3	0.9	0.3
もも (果皮及び種子を含む。)	20	4.7	68.0	16.0	74.0	17.4	106.0	24.9	88.0	20.7
ネクタリン	3	1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
あんず (アブリコットを含む。)	5	1.123	1.0	0.2	0.5	0.1	0.5	0.1	2.0	0.4
すもも (プルーンを含む。)	10	1.4	11.0	1.5	7.0	1.0	6.0	0.8	11.0	1.5
うめ	5	1.455	7.0	2.0	1.5	0.4	3.0	0.9	9.0	2.6
おうとう (チェリーを含む。)	25	11	10.0	4.4	17.5	7.7	2.5	1.1	7.5	3.3
いちご	15	4.2	81.0	22.7	117.0	32.8	78.0	21.8	88.5	24.8
ラズベリー	20	8.3	2.0	0.8	2.0	0.8	2.0	0.8	2.0	0.8
ブラックベリー	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ブルーベリー	20	6.9	22.0	7.6	14.0	4.8	10.0	3.5	28.0	9.7
クランベリー	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ハuckleベリー	20	6.9	2.0	0.7	2.0	0.7	2.0	0.7	2.0	0.7
その他のベリー類果実	0.01	● 0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

キャプタンの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1～6歳) TMDI	幼児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
ぶどう	25	3.7	217.5	32.2	205.0	30.3	505.0	74.7	225.0	33.3
かき	5	1.92	49.5	19.0	8.5	3.3	19.5	7.5	91.0	34.9
パパイア	5	1.665	1.0	0.3	1.5	0.5	0.5	0.2	0.5	0.2
パイナップル	0.7	0.177	1.2	0.3	1.6	0.4	1.0	0.2	1.2	0.3
マンゴー	5	1.275	1.5	0.4	1.5	0.4	0.5	0.1	1.5	0.4
その他の果実	10	1.4	12.0	1.7	4.0	0.6	9.0	1.3	17.0	2.4
アーモンド	0.3	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.5	0.09	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のスパイス (根又は根茎に限る。)	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	15	5.325	13.5	4.8	4.5	1.6	1.5	0.5	21.0	7.5
計			1822.1	478.0	1429.9	393.7	2031.8	476.1	2240.5	600.4
ADI比 (%)			33.1	8.7	86.7	23.9	34.7	8.1	39.9	10.7

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。
 国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

キャプタンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
小麦	小麦	2	○ 0.63	0.9	0
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.1	0
大豆	大豆	0.01	0.01	0.0	0
小豆類	いんげん	1	○ 0.5	0.8	0
らっかせい	らっかせい	0.01	0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.05	0.5	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.01	0.01	0.1	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	0.01	0.01	0.1	0
かぶ類の根	かぶの根	0.01	0.01	0.1	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.01	0.01	0.0	0
はくさい	はくさい	2	2	25.9	1
キャベツ	キャベツ	0.01	0.01	0.1	0
ケール	ケール	0.01	0.01	0.1	0
こまつな	こまつな	0.01	0.01	0.0	0
きょうな	きょうな	0.01	0.01	0.0	0
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.01	0.01	0.1	0
カリフラワー	カリフラワー	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	0.01	0.1	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.01	0.01	0.1	0
	菜花	0.01	0.01	0.0	0
ごぼう	ごぼう	0.02	0.02	0.1	0
しゅんぎく	しゅんぎく	0.01	0.01	0.0	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	1	1	5.6	0
	非結球レタス類	1	1	4.0	0
	レタス	1	1	5.7	0
たまねぎ	たまねぎ	0.3	0.3	2.5	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	2	7.6	0
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	0.01	0.01	0.0	0
わけぎ	わけぎ	0.01	0.01	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	5	5	8.8	0
	らっきょう	5	5	5.3	0
にんじん	にんじん	0.01	0.01	0.0	0
	にんじんジュース	0.01	0.01	0.1	0
パセリ	パセリ（生）	15	15	2.4	0
	パセリ（乾燥）	15	○ 5.325	4.8	0
セロリ	セロリ	15	15	82.7	3
みつば	みつば	15	15	12.1	0
その他のせり科野菜	せり	15	15	24.6	1
トマト	トマト	5	○ 2.3	25.2	1
ピーマン	ピーマン	0.02	0.02	0.1	0
なす	なす	5	5	32.3	1
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	0.05	0.05	0.1	0
	ししとう	0.05	0.05	0.1	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	○ 1.5	9.5	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	5	5	49.1	2
	ズッキーニ	5	5	36.2	1
しろうり	しろうり	10	○ 0.13	1.1	0
すいか（果皮を含む。）	すいか	3	3	98.8	3
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	20	0.2	3.4	0
その他のうり科野菜	とうがん	0.01	0.01	0.2	0
	にがうり	0.01	0.01	0.1	0
ほうれんそう	ほうれんそう	15	15	72.7	2
たけのこ	たけのこ	0.01	0.01	0.1	0
オクラ	オクラ	0.05	0.05	0.1	0
しょうが	しょうが	0.3	○ 0.12	0.1	0

キャプタンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.01	0.01	0.0	0
	未成熟えんどう（豆）	0.01	0.01	0.0	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.01	0.01	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.01	0.01	0.0	0
その他の野菜	ずいき	0.05	0.05	0.5	0
	もやし	0.05	0.05	0.1	0
	れんこん	0.05	0.05	0.3	0
	そら豆（生）	0.05	0.05	0.1	0
りんご	りんご	15	15	214.3	7
	りんご果汁	15	○ 1.5	15.9	1
日本なし	日本なし	15	○ 6.79	102.7	3
西洋なし	西洋なし	15	○ 6.79	95.3	3
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	20	○ 16	217.0	7
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	10	○ 7.9	46.3	2
うめ	うめ	5	5	6.9	0
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	25	○ 21	52.4	2
いちご	いちご	15	○ 12	45.8	2
ブルーベリー	ブルーベリー	20	○ 18	25.8	1
ぶどう	ぶどう	25	○ 22	296.4	10
かき	かき	5	5	71.5	2
パイナップル	パイナップル	0.7	0.7	10.5	0
マンゴー	マンゴー	5	5	67.4	2
その他の果実	いちじく	10	○ 7.9	60.6	2
アーモンド	アーモンド	0.3	○ 0.05	0.0	0
くるみ	くるみ	0.5	○ 0.09	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

メロン類果実（果皮を含む。）については、作物残留試験結果における果肉の残留濃度を用いて短期摂取量を推計した。

キャプタンの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
小麦	小麦	2	○ 0.63	1.9	0
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.2	0
大豆	大豆	0.01	0.01	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.01	0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.05	1.1	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.01	0.01	0.2	0
はくさい	はくさい	2	2	31.4	1
キャベツ	キャベツ	0.01	0.01	0.2	0
こまつな	こまつな	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	0.01	0.1	0
ごぼう	ごぼう	0.02	0.02	0.1	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	1	1	9.8	0
	非結球レタス類	1	1	13.9	0
	レタス	1	1	8.8	0
たまねぎ	たまねぎ	0.3	0.3	5.3	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	2	13.0	0
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
にんじん	にんじん	0.01	0.01	0.1	0
パセリ	パセリ（生）	15	15	2.6	0
トマト	トマト	5	○ 2.3	62.5	2
ピーマン	ピーマン	0.02	0.02	0.1	0
なす	なす	5	5	78.2	3
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	○ 1.5	21.9	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	5	5	80.2	3
すいか（果皮を含む。）	すいか	3	3	259.7	9
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	20	○ 0.2	5.9	0
ほうれんそう	ほうれんそう	15	15	168.4	6
たけのこ	たけのこ	0.01	0.01	0.1	0
オクラ	オクラ	0.05	0.05	0.2	0
しょうが	しょうが	0.3	○ 0.12	0.2	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.01	0.01	0.0	0
	未成熟えんどう（豆）	0.01	0.01	0.0	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.01	0.01	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.01	0.01	0.0	0
その他の野菜	もやし	0.05	0.05	0.2	0
	れんこん	0.05	0.05	0.5	0
りんご	りんご	15	15	481.5	20
	りんご果汁	15	○ 1.5	50.6	2
日本なし	日本なし	15	○ 6.79	195.2	7
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	20	○ 16	678.7	20
うめ	うめ	5	5	17.1	1
いちご	いちご	15	○ 12	129.6	4
ぶどう	ぶどう	25	○ 22	673.5	20
かき	かき	5	5	104.5	3
パイナップル	パイナップル	0.7	0.7	22.4	1

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

メロン類果実（果皮を含む。）については、作物残留試験結果における果肉の残留濃度を用いて短期摂取量を推計した。

キャプタンの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
小麦	小麦	2	○ 0.63	0.9	0
とうもろこし	スイートコーン	0.01	0.01	0.1	0
大豆	大豆	0.01	0.01	0.0	0
小豆類	いんげん	1	○ 0.5	0.8	0
らっかせい	らっかせい	0.01	0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.05	0.5	0
だいこん類（根）	だいこんの根	0.01	0.01	0.1	0
だいこん類（葉）	だいこんの葉	0.01	0.01	0.1	0
かぶ類（根）	かぶの根	0.01	0.01	0.1	0
かぶ類（葉）	かぶの葉	0.01	0.01	0.0	0
はくさい	はくさい	2	2	23.2	8
キャベツ	キャベツ	0.01	0.01	0.1	0
ケール	ケール	0.01	0.01	0.1	0
こまつな	こまつな	0.01	0.01	0.0	0
きょうな	きょうな	0.01	0.01	0.0	0
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.01	0.01	0.1	0
カリフラワー	カリフラワー	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.01	0.01	0.1	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.01	0.01	0.1	0
	菜花	0.01	0.01	0.0	0
ごぼう	ごぼう	0.02	0.02	0.1	0
しゅんぎく	しゅんぎく	0.01	0.01	0.0	0
レタス	レタス類	1	1	5.7	2
	非結球レタス類	1	1	4.2	1
	レタス	1	1	5.7	2
たまねぎ	たまねぎ	0.3	0.3	2.3	1
ねぎ	ねぎ	2	2	6.8	2
にんにく	にんにく	0.01	0.01	0.0	0
にら	にら	0.01	0.01	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	0.01	0.01	0.0	0
わけぎ	わけぎ	0.01	0.01	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	5	5	8.8	3
	らっきょう	5	5	6.4	2
にんじん	にんじん	0.01	0.01	0.0	0
	にんじんジュース	0.01	0.01	0.1	0
パセリ	パセリ（生）	15	15	2.0	1
	パセリ（乾燥）	15	○ 5.325	4.8	2
セロリ	セロリ	15	15	80.8	30
みつば	みつば	15	15	8.7	3
その他のせり科野菜	せり	15	15	24.6	8
トマト	トマト	5	○ 2.3	22.6	8
ピーマン	ピーマン	0.02	0.02	0.0	0
なす	なす	5	5	30.1	10
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	0.05	0.05	0.1	0
	ししとう	0.05	0.05	0.1	0
きゅうり	きゅうり	3	○ 1.5	9.1	3
かぼちゃ	かぼちゃ	5	5	47.7	20
	ズッキーニ	5	5	36.2	10
しろり	しろり	10	○ 0.13	1.1	0
すいか（果皮を含む。）	すいか	3	3	101.9	30
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	20	○ 0.2	3.6	1
その他のうり科野菜	とうがん	0.01	0.01	0.2	0
	にがうり	0.01	0.01	0.1	0
ほうれんそう	ほうれんそう	15	15	67.9	20
たけのこ	たけのこ	0.01	0.01	0.1	0
オクラ	オクラ	0.05	0.05	0.1	0
しょうが	しょうが	0.3	○ 0.12	0.1	0

キャプタンの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	0.01	0.01	0.0	0
	未成熟えんどう（豆）	0.01	0.01	0.0	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.01	0.01	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.01	0.01	0.0	0
その他の野菜	ずいき	0.05	0.05	0.5	0
	もやし	0.05	0.05	0.1	0
	れんこん	0.05	0.05	0.3	0
	そら豆（生）	0.05	0.05	0.1	0
りんご	りんご	15	15	204.4	70
	りんご果汁	15	○ 1.5	15.9	5
日本なし	日本なし	15	○ 6.79	98.5	30
西洋なし	西洋なし	15	○ 6.79	95.2	30
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	20	○ 16	205.2	70
すもも	ブルーン	10	○ 7.9	46.3	20
うめ	うめ	5	5	6.8	2
おうとう	おうとう	25	○ 21	52.4	20
いちご	いちご	15	○ 12	40.2	10
ブルーベリー	ブルーベリー	20	○ 18	25.8	9
ぶどう	ぶどう	25	○ 22	288.3	100
かき	かき	5	5	64.0	20
パイナップル	パイナップル	0.7	0.7	10.1	3
マンゴー	マンゴー	5	5	67.5	20
その他の果実	いちじく	10	○ 7.9	60.5	20
アーモンド	アーモンド	0.3	○ 0.05	0.0	0
くるみ	くるみ	0.5	○ 0.09	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

メロン類果実（果皮を含む。）については、作物残留試験結果における果肉の残留濃度を用いて短期摂取量を推計した。

(参考)

これまでの経緯

昭和44年11月20日	初回農薬登録
平成17年11月29日	残留農薬基準告示
平成19年6月25日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成21年11月2日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：小麦、りんご等）
平成21年12月14日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成25年5月13日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請
平成29年3月7日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成29年10月12日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成30年7月3日	残留農薬基準告示
平成29年3月7日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ぶどう、せり科葉菜類）
平成30年6月21日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成30年7月24日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成31年3月29日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和元年10月31日	残留農薬基準告示
平成31年3月25日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：オクラ及びくるみ）
令和2年11月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和3年2月16日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和3年7月1日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和3年7月7日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

○ 穂山	浩	学校法人星薬科大学薬学部薬品分析化学研究室教授
石井	里枝	埼玉県衛生研究所副所長（兼）食品微生物検査室長
井之上	浩一	学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所化学部長
折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授
加藤	くみ子	学校法人北里研究所北里大学薬学部分析化学教室教授
魏	民	公立大学法人大阪大阪市立大学大学院医学研究科 環境リスク評価学准教授
佐藤	洋	国立大学法人岩手大学農学部共同獣医学科比較薬理毒性学研究室教授
佐野	元彦	国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	学校法人東京農業大学応用生物科学部農芸化学科 生物有機化学研究室准教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
中島	美紀	国立大学法人金沢大学ナノ生命科学研究所 薬物代謝安全性学研究室教授
永山	敏廣	学校法人明治薬科大学薬学部特任教授
根本	了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問
二村	睦子	日本生活協同組合連合会常務執行役員

(○：部会長)

答申（案）

キャプタン

食品名	残留基準値 ppm
小麦	2
とうもろこし	0.01
大豆	0.01
小豆類 ^{注1)}	1
えんどう	0.01
そら豆	0.01
らっかせい	0.01
その他の豆類 ^{注2)}	0.01
ばれいしょ	0.05
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.01
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	0.01
かぶ類の根	0.01
かぶ類の葉	0.01
西洋わさび	0.05
クレソン	0.01
はくさい	2
キャベツ	0.01
芽キャベツ	0.01
ケール	0.01
こまつな	0.01
きょうな	0.01
チンゲンサイ	0.01
カリフラワー	0.01
ブロッコリー	0.01
その他のあぶらな科野菜 ^{注3)}	0.01
ごぼう	0.02
サルシフィー	0.01
アーティチョーク	0.01
チコリ	0.01
エンダイブ	0.01
しゅんぎく	0.01
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	1
その他のきく科野菜 ^{注4)}	0.05
たまねぎ	0.3
ねぎ（リーキを含む。）	2
にんにく	0.01
にら	0.01
アスパラガス	0.01
わけぎ	0.01
その他のゆり科野菜 ^{注5)}	5

食品名	残留基準値 ppm
にんじん	0.01
パースニップ	0.01
パセリ	15
セロリ	15
みつば	15
その他のせり科野菜 ^{注6)}	15
トマト	5
ピーマン	0.02
なす	5
その他のなす科野菜 ^{注7)}	0.05
きゅうり（ガーキンを含む。）	3
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	5
しろうり	10
すいか（果皮を含む。）	3
メロン類果実（果皮を含む。）	20
まくわうり（果皮を含む。）	10
その他のうり科野菜 ^{注8)}	0.01
ほうれんそう	15
たけのこ	0.01
オクラ	0.05
しょうが	0.3
未成熟えんどう	0.01
未成熟いんげん	0.01
えだまめ	0.01
その他の野菜 ^{注9)}	0.05
りんご	15
日本なし	15
西洋なし	15
マルメロ	9
もも（果皮及び種子を含む。）	20
ネクタリン	3
あんず（アプリコットを含む。）	5
すもも（プルーンを含む。）	10
うめ	5
おうとう（チェリーを含む。）	25
いちご	15
ラズベリー	20
ブラックベリー	0.01
ブルーベリー	20
クランベリー	0.01
ハuckleベリー	20
その他のベリー類果実 ^{注10)}	0.01

食品名	残留基準値 ppm
ぶどう	25
かき	5
パパイヤ	5
パイナップル	0.7
マンゴー	5
その他の果実 ^{注11)}	10
アーモンド	0.3
くるみ	0.5
その他のスパイス（根又は根茎に限る。） ^{注12)}	0.05
その他のハーブ ^{注13)}	15
干しぶどう	50

- 注1) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。
- 注2) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。
- 注3) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。
- 注4) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）及びハーブ以外のものをいう。
- 注5) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。
- 注6) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
- 注7) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
- 注8) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
- 注9) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
- 注10) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。
- 注11) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。
- 注12) 「その他のスパイス（根又は根茎に限る。）」とは、アサフェチダ、ウコン、ガジュツ、ガラシ又はカンゾウの根又は根茎をいう。
- 注13) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。